

地域貢献の大切さ

産学官地域連携センター長・副学長

松尾直昭

日本の人口動向の危機的問題が喧伝されて久しいですが、いよいよその深刻さが露わになってきました。国勢調査をもとにした国立社会保障・人口問題研究所の統計では、2010年の日本全体の18歳人口はおよそ122万人でしたが、2040年には88万人となり、34万人減少する予測です。大学進学率を50%と考えても、17万人の進学者減となり、3000人規模の高等教育機関57校に甚大な影響がでることになります。岡山県での全人口は2010年に195万人でしたが、40年には161万人になり、34万人減少（「2015年10月岡山県人口ビジョン」）することになります。岡山市の場合、2010年に79万人の全人口が40年には65万人、およそ5万8千人減少する（「2015年岡山市人口ビジョン」）予測です。こうした人口減少問題に対して、県と市ではそれぞれ、「おかやま創生総合戦略」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を立案し実施しています。これらは、2014年に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を反映させた施策でもあります。

県の基本目標は以下の通りです。

- 基本目標1 若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえる
- 基本目標2 人を呼び込む魅力ある郷土岡山づくりの推進
- 基本目標3 地域の持続的発展のための経済力の確保
- 基本目標4 地域の活力を維持する

この目標が、市のレベルで以下のように調整されています。

- 基本目標1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する。
- 基本目標2 岡山市への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4 安全・安心にらせるまちをつくり、地球と地域を連携する

この地域創成という課題は、行政の課題ばかりではなく、地域に基盤を持つ大学の課題でもあり、大学の取り組み方が重要視されています。特に、地域とともに歩もうとする本学においては、学生教育・専門的研究とともに優先すべき使命であるといえましょう。本学の知財と人財を活用して持続可能な地方構築と活性化に寄与しうるどのような可能性があるのか、それを具体化できるどのような貢献が可能なのか。

今回の報告は、本学と岡山県内、岡山市内の各機関・団体などとの協働関係を重要視し、歩んできた2019年度の報告です。

現在、7つの市町村、5つの企業・団体、4つの大学・教育機関、2つの財団法人、7つの病院・医療機関、1つの公民館、等と連携協定を締結し、ここを拠点としながらそれ以外の多方面に、本学の教育と研究の成果を提供し、地域と本学の活性化をはかる協働事業を展開しています。さらに、産学官地域連携センターを中心に産学官連携イベントや展示会、研究会、交流会等を活用して、本学の研究成果を発信し、企業等の需要に呼応できるマッチングを図っています。今回の報告書は就実公開講座、学科・研究所・センター等主催事業、出前授業、学外組織との連携・協働、各種学外委員会の応嘱、講師派遣の項目ごとに、編集しています。生涯学習、地域文化・文化財の再認識と継承、観光客への便宜的配慮による観光促進、子育て支援、幼年児の社会教育等、多方面にわたり本学の教育・研究の成果を提供していることをご高覧いただければ幸甚です。こうした活動により、地域の創生に尽力するとともに、学生に向けて岡山の魅力の再確認をはかっていきたいと考えています。今後も、地域とともに歩み、信頼される大学・短大として発展してゆきたいと思っております。

目 次

ごあいさつ（地域貢献の大切さ）	1
就実公開講座	5
学科・研究所・センター等主催事業	29
出前授業	45
学外組織との連携・協働	49
各種学外委員会の応嘱	61
講師の派遣	73

就実公開講座

前期講座テーマ

「豊かな人生に向かう楽しい学び」

(2019年6月1日～7月6日)

ストレスとのおつきあい

就実短期大学 幼児教育学科 講師 荊 木 まき子

本講座は幼児教育学科のテーマ「豊かな人生に向かう楽しい学び」の初日講座として、「ストレスとのおつきあい」を行った。当日は60-70代の方を中心に様々な年齢層の80名近い方が受講され、熱心に聞き入る雰囲気の中、盛況のうちに修了することとなった。

会全体として、地域貢献委員の柴田先生より開会の辞が述べられ、講師として紹介していただいた後、講義を始めた。最初に、「ストレスとは？」という題目でストレスの概念についての説明を行った。そこでは、ストレスとは①ストレスをもたらすストレッサーと、②これに向き合い取り組む構えとしてのストレイン、③そこで踏ん張る力としてのストレス反応でなりたっていること。さらに、日頃感じているストレスは、ストレスをもたらすものだけではなく、自分自身の構えや評価、受け止め方によって変化するものであることと等、ストレスのメカニズムを理解してもらった。

次に、日常的によくある例を紐解きながら、同じストレッサーとなりうる状況としても、受け止め方により、ストレスになるかどうか変化すること。ライフイベント型のストレスのように、死別や離婚といった悲しいことだけでなく、昇進や結婚といった好ましい出来事も現在の生活様式に大きな変化をもたらすことがストレスになりうることや、デイリーハッスル型のように日常的な時間のなさや、他者からの評価等小さいことが積み重なってストレスになること等、ストレスが実はさまざまな見方や状況から発生することを説明した。その後、ライフイベント型ストレスをチェックするチェックシートを受講者全員で行い、現在のストレス状況を理解していただいた。その中で様々な要因がストレスになること、男性と女性でストレスと感ずることに違いがあること等を説明すると、うなずきが見られる場面も見られた。

後半には、これらのストレスに対処するための方法について説明した。例えば、ストレスの対処方法として、身体のリラックスからストレスを緩和するような呼吸法や身体的リラクゼーション、精神的リラクゼーションがあることや、人に上手に助けを求めるためのコミュニケーションスキルや対人スキルの向上、周囲からのソーシャルサポート等が有効なこと、日頃からの栄養と健康的なライフスタイルの確立等と、様々なことがストレス対処法に役立つことを説明した。その上で、「ストレス対処のチェックリスト」も行い、受講生自身のストレス対処にどのような特徴があるのかを理解してもらった。

有効なストレス対処方法の実習として、現在の心理的状況をチェックした後、リラクゼーション法を行った。最初に深呼吸で身体の中の空気を出すと自然に空気が入ってくることを体感してもらった。受講生はお腹に手を当て、自分の身体の手触りを味わいながら、深呼吸を行った。そこから、各身体の部位に力を入れた後に緩めるといった漸進的弛緩法を行い、身体各部位に10秒間力を入れた後に力を抜くという動作を行い、全身の身体緊張をほぐしてもらった。次に、2人1組のペアになってもらい、片方の人に肩を持ってもらい、肩上げさげをくり返す、ペアリラクゼーションを行って

もらった。初対面同士の方もいたが、それぞれがペアになって作業を行うことで和やかな雰囲気が生まれた。最後に、目を閉じてもらい、身体の力をぬいていく指示をイメージしながら、身体の力を抜いていく自律訓練法を行った。最初、ざわざわしていた会場も、こちらの読み上げに反応して静かになり、最後には、静寂が訪れた。最後に、ストレスの状況をチェックしてもらったが、リラクゼーションの実習後に、多くの受講生のストレスが緩和したようであった。

講義終了後に受講生の方々からの質問を受け付けたが、出てきた質問内容として、「ライフイベント型のストレスの中に休暇が入っていたがそれはなぜか？」という質問や、「持病で病院に行かなくてはならないが、そのたびにストレスで血圧が上がり困ってしまうが、どうしたら良いのか」といった今回学習した内容に付随した質問から、日々のストレスに関する悩み相談まで、幅広い質問が寄せられた。講義終了後も、ストレスに関わる個人的な相談に来られた方がいて、熱心に受講されていた様子が伝わってきた。

最後に講義者の印象として、予想以上の多くの受講生に恵まれ驚いた反面、日常生活の中でストレスといかにつき合うのかというテーマは、多くの方にとっては、関心あることなのだということが再確認させてもらった。また、講義途中の熱心な受講態度や、講義終了後のストレスに関する質問を見ても、ストレスに対する学びは、予防の観点からも必要なことであり、こうした試みは、様々な場面で有効ということを実感した。この場をお借りして、このような気づきを得られた機会を与えてくれたことに感謝して、本報告書を締めくくろうと思う。

『幸せに向かう先人の言葉』(1)～心豊かに生きるための『論語』他～

就実短期大学 幼児教育学科 教授 小谷彰吾
2019年6月8日(土) 於 S102 教室 受講者約100名

時代は急激に変化を遂げている。一方で、その進化に人々の精神、倫理がついていくことができず、不安定な個が出現し、共同体意識も希薄になっている。

そうした中で、『論語』をはじめとした古典は、長い歴史を超えて現代を生きる私たちに生きていく一つの指針を示してくれる。Classicは、「一流」であり、古典は時代を超えて生き残った「一流」なのである。

激変する時代だからこそ、こうした一流を学び、「共によりよく生きていく」ことが求められている。人間の悩みのほとんどは「人間関係」に関わるものであり、その悩み、その解決は2500年を経た今でも変わらない。だからこそ、求められているのである。

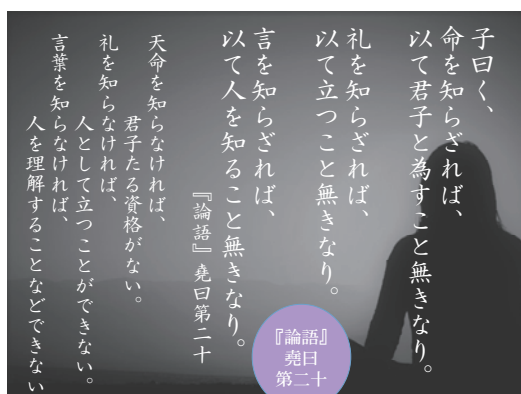
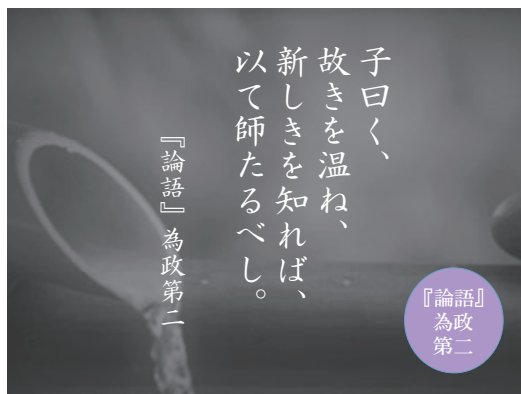
人と人をつなぎ良好な人間関係を維持する根幹は『忠恕』であるとするのが孔子の教えである。相手を思い、相手を理解しようとする内面、そして、それを形にした『礼』を重んじることで、徳治を目指すものである。したがって、現代のように指先を他者に向けて責任を問うのではなく、自分の心に問い返し、考え方、行動が『礼』にかなったものであるかどうかを問う『修己治人』の学である。

だからこそ、よりよい考え方、あり方生き方を「知っていても価値はない。」行動となってはじめて価値があるのである。儒学は、「知行合一」「言行一致」を目指すものであり、頭だけの理解、口先だけの理屈は『論語読みの論語知らず』と言って否定する。

人にはそれぞれ『命』として、生まれてきた理由があり、その実現のために「生かされている」。その人生に関わる哲学的な自問自答に答えてくれるのが、こうした東洋の古典である。そうした学びを通して「徳」を身につけ、「私」のためだけでなく、「公」のために自己を高めるところに、現代社会の中で蔓延している自己中心的発想に一石を投じていると言える。

長い間続いてきた断片的な知識の暗記量を問う学びではなく、「博学、審問、慎思、明辯、篤行」物事の道理を極め、日常の善悪を正していく『格物致知』の学びによって、美しい生き方に至るために学びいわゆる「徳の学び」である。「温・良・恭・儉・讓」をはじめ、目指すべき姿を『君子』として、客観的に自己を見つめさせてくれる教えである。

こうしたことをスライドを使い、実際の章句を数多く取り上げ、具体的な日常生活の想起と共に「自己を見つめる」講座として展開した。



赤ちゃんといっしょ-ベビーヨガ教室-

就実短期大学 幼児教育学科 准教授 松 本 希

当日は、雨が降る中、3組の親子（大人3名、子ども兄弟を含む5名）の参加がありました。本学科からはピアノ演奏を秋山真理子先生にお願いし、ボランティア学生2名がサポートをしてくれました。

講座では、赤ちゃんの発育発達に必要な動きや次の発達に向けて体験しておきたい動きを中心に童謡やわらべ歌を歌いながら赤ちゃんの体を動かしていきました。

【当日のプログラム】

- ① 手遊び
- ② 自己紹介
- ③ ふれあい遊び：いないいないばあ
- ④ ふれあい遊び：いっぽんぼし
- ⑤ 足・股関節の運動 ♪チューリップ
- ⑥ 胸・背中の運動 ♪ぞうさん
- ⑦ 腕・肩の運動 ♪げんこつやまのたぬきさん
- ⑧ 体幹の運動 ♪どんぐりころころ
- ⑨ 肩・足の運動 ♪いとまき
- ⑩ 肩・足・体幹の運動 ♪きらきらぼし
- ⑪ 体幹の運動（親：腕） ♪おつかいありさん
- ⑫ 体幹の運動（親：お腹・足） ♪おうまのおやこ
- ⑬ 色の世界を体験してみよう
- ⑭ （親：体力向上） ♪さんぽ
- ⑮ バランス・リラクゼーション ♪ゆりかごのうた
- ⑯ 絵本「だるまさんが」
- ⑰ 質疑応答

【ベビーヨガ（赤ちゃん体操）・ベビータッチのメリット】

- ・体力/身体能力の向上
- ・便秘解消
- ・夜泣きの改善
- ・血液循環の促進
- ・食欲向上
- ・ストレス解消
- ・バランス能力の向上
- ・コミュニケーションの促進
- ・産後の体を整える など

小さいお子さんを抱えるお母さん方は、家庭の中だけなど閉鎖的な生活スタイルになりがちです。講座の中では、気軽にどんな些細なことでも相談を受けるようにしています。講座への参加は、自分の子どもだけでなく、他の参加者の子どもを見ることによって、客観的に自分の子どもを見つめなおすことができます。また子どもの体をすみずみまで触れていくことで、子どもの好きな触り方/嫌いな触り方、触って喜ぶ場所/嫌がる場所が分かり、普段のコミュニケーションの促進に役立ちます。このように、赤ちゃんの運動だけでなく、お母さんなどの保護者の気持ちに寄り添う講座になるよう心掛けて実施しました。

今回は、付き添ってきてくれたお兄ちゃん・お姉ちゃんも我慢することなく講座の間を過ごせたり、お母さんが困ったりすることがないように、お兄ちゃん・お姉ちゃん用のおもちゃを用意したり、ボランティア学生を配置しました。それぞれに満足ができる内容になったのではないかと思います。

生ピアノ演奏を使用しての赤ちゃん体操の講座はあまり無いと思います。綺麗な音色を聴きながら穏やかな時間を過ごすことができました。



『東京 2020 パラリンピック大会を楽しもう』 -障がい者スポーツの意義と変遷-

就実短期大学 幼児教育学科 教授 土田 耕司

1. 障害者スポーツとは

障害者スポーツとは、身体障害や知的障害などの障害がある人が行うスポーツのことですが、正式には日本障害者スポーツ協会の「全国障害者スポーツ競技規則」の解説によると、原則として、健常者が行っているスポーツを、①身体に障害があるためにできないことがある。②身体に障害があるためにスポーツによる事故の心配がある。③さらに、障害を増悪化させるおそれがある。これらの理由で、競技規則の一部を変更して行うスポーツ競技である。(最近では、障害者のために考えられた新しいスポーツもできてきている)

例として、一般と同じテニスコート、同じテニスラケット、テニスボールで、同じ得点で、試合をし、車いすに乗ること、一般のテニスの1バウンドを2バウンドまでOKとするルールを用いた車いすテニス。また、下肢不自由者のシッティングバレーボール、視力障害者のマラソンであるブラインドマラソンなどが分かりやすく有名である。

2. 障害者スポーツの競技の公平性(クラス分け)

競技スポーツとしてパラリンピック、国際大会、国内の競技会などの競技性を持った障害者大会では障害の程度が成績に影響しないように、障害の程度や状態に分かれる「クラス分け」の判定を受ける必要が必ずある。クラス分けの判定を受けないと記録が公認されないの、選手には事前にクラス分けの判定を受ける必要がある。このことで、障害者スポーツと競技の公平性が保たれます。

3. パラリンピックの歴史

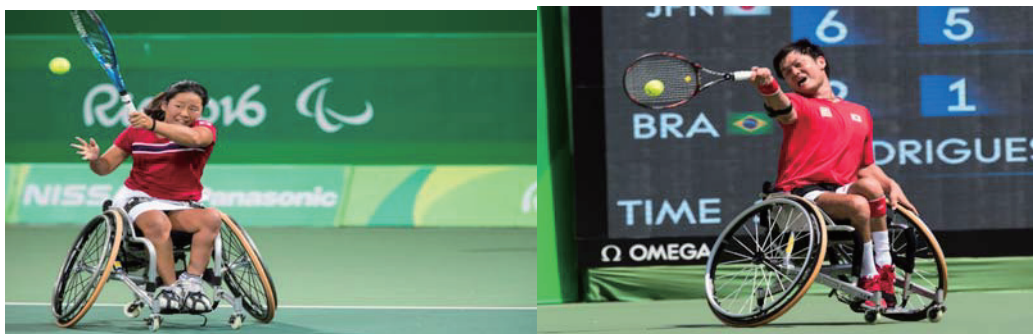
パラリンピックの原点は、第一次世界大戦後まもなく、戦争で負傷した兵士の治療と社会復帰を目的としたリハビリテーションの一環として始まった障害者のスポーツを、イギリス・ロンドン郊外のストック・マンデビル病院の医師ロードヴィッヒ・グットマン卿により、1948年ロンドンオリンピックにあわせて、院内で16名の車いす患者によるアーチェリー大会を開催しました。これがパラリンピックの原点です。1960年ローマオリンピックの同年に、ローマで行われた大会(第9回ストック・マンデビル大会)を、後に第1回パラリンピックと位置づけ、1964年東京大会が第2回パラリンピックとなります。そして、今日のような、さまざまな障害のあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑む世界最高峰の国際競技大会へと発展していった。オリンピックと同じく夏季大会、冬季大会がそれぞれ4年に一度、オリンピックの終了後に開催されており、今や、オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ、世界で3番目に大きなスポーツイベントへとなっています。

4. 障害者スポーツの有名なアスリートたち

わが国で障害者アスリートでは、有森裕子選手が活躍していた時と同じく、1996年のアトランタ、2000年のシドニーで銀メダル、2004年アテネパラでは念願の金メダルを獲得した畑中和選手。さ

らには、陸上の広道純選手、水泳の成田真由美、夏と冬のメダリストである土田和歌子選手などが草創期の第一人者といえるでしょう。

最近では、車いすテニスの上地結衣選手や、国枝慎吾選手などは、障害者アスリートとして、上地選手は大手芸能プロダクションのエイベックス、国枝選手はテニスの錦織圭選手と同じ、大手衣類ファッションメーカーのユニクロとスポンサー契約を結んでいる。障害者アスリートの世界ではいち早く、健常者と障害者の壁が取り除かれつつあります。



5. 東京 2020 パラリンピック 注目選手と注目競技

「東京 2020 パラリンピック」を楽しむために、論者の独断で注目選手と注目競技を、日本財団の配布パンフレットと「パラサポートWEB」を参考にピックアップします。

日本の注目選手としては、卓球の別所キヨエ選手。陸上競技の道下美里選手、義足のレジェンド山本篤選手、岡山在住の佐藤友祈選手などの紹介。(講演会の当日は、参加選手は決定していない)

注目競技としては、格闘技ファンにお勧めとして、障害者スポーツでメジャーである車いすバスケットは球技として観戦するよりも格闘技として楽しめる。静寂の中の熱き攻防戦のゴールボール。金メダルに最も近い男女車いすテニス。また、卓球のエジプトのイブラヒム・ハマト選手のプレーなどを紹介。個人個人の興味を掻き立てるスポーツ競技が観戦できます。



6. 最後に

東京 2020 パラリンピック大会開催まで、あと 425 日(講座当日から)になりました。今まで、あまり観戦してなかったスポーツ競技でしょうが、障害者アスリートたちが力と技を競い合う姿に感動しながら楽しみましょう。

参考・引用資料

日本財団「パラサポートWEB」

<https://www.parasapo.tokyo/featured-athletes?search-sports=215>

「Para! SPORTS」日本財団パラリンピックサポートセンダ 2016 他2点 (配布)

影響力の心理学

就実短期大学 幼児教育学科 准教授 鎌田 雅史

1. はじめに

令和元年6月20日、就実大学・短期大学のS101教室において、就実公開講座『影響力の心理学』を実施した。講義においては、対人コミュニケーションにおける影響力の大きさは、何によって決まるのかという問いについて、社会心理学の視点から紹介した。以下に、講義の概要を示す。

2. 講義の概要

(1) 同じメッセージを送ったとしても、人により影響力は異なる。

例えば、サッカークラブの子どもに対して、「頑張ったら、もっと上手になるよ」というメッセージを大人が送ったとする。このようなメッセージが、どの程度子どものやる気を高めることができるかどうかは、メッセージの送り手と受け手の関係性に左右される。

もし、メッセージの送り手が、有名なプロ選手であったり、子どもがあこがれている存在であったなら、メッセージが、子どもの心に強く響く可能性は高まる。一方で、サッカーが下手な人や、子どもにとって嫌いな人であった場合、子どものやる気は高まりにくい。このように、同じメッセージを送っても、メッセージの受け手（対象者）がメッセージの送り手（影響者）をどのように捉えているかによって、メッセージの影響力は大きく変化する。

社会心理学では、リーダーシップ、教育、医療、福祉などの領域における、対人コミュニケーションの「影響力」について、盛んに研究が行われてきた。本講義においては、社会心理学の視点から、以下の3点について概説した。

- (a) 影響力の源について
- (b) 効果的なメッセージの送り方
- (c) 非合理的な影響力

(a) 影響力の源について

古典的な影響力の理論に基づき（French & Raven, 1959）、対人コミュニケーションの基礎となる以下の5つの資源を紹介した。資源を多く有する他者は、自分に対し、強い影響力を有す。

強制勢力	怖い人の言うことは、無下にはできない。
報酬勢力	一緒にいて自分に報酬がある人の言うことは無下にはできない。
正当勢力	規則、役割において、正当な関係である場合、無下にはできない。
専門勢力	特定の事柄に、自分よりも優れた見識のある他者の言うことは、その事柄の範囲において、無下にはできない。
準拠勢力	自分が目標としている他者、あこがれている他者、承認してほしいと感じている他者の意見は、心に響く。

これらの影響力は、メッセージの受け手が、どのように送り手を認識しているかに依存する。

(b) 効果的なメッセージの送り方と留意点

1) 関係性の中で保有している資源と一致したメッセージは、伝わりやすい。

例. 医者は、多くの患者に対し「専門勢力」を有す。

健康に関する情報提供は、影響力が割り増しされて伝わる。

→ 一方で、健康に関係しない話題に関する影響力は高まらない。

2) 報酬、強制は、一次的な威力は強いが、副作用がある。

例 1. 期末テストでよい点数を取ると、お小遣いをあげる約束をする（報酬）と、子どもが勉強をする確率は高まる。

→ 一方で、お小遣いがもらえない時に、自発的に勉強する確率が下がる。

例 2. 自転車のヘルメットや制服のスカート丈などを監視し、違反者に罰を下すルールを制定すると、教師の前で違反をする生徒が減少する。

→ 一方で、教師がいない時（監視の目が及ばない時）に、意図的に違反する確率が高まる。

3) 準拠勢力は、強力で持続されるが、意図しないメッセージも伝わる。

例 1. 憧れの教師の言うことは受け入れられる確率が上がる。

→ 喫煙や飲酒のような嗜好性についても、取り込みが見られる。

例 2. 良好な関係にある保護者と子ども間のネガティブなメッセージの伝達。

→ 保護者が、「勉強なんて役にたたない」「〇〇はきれい」のような態度を表明すると、それが子どもの価値観に取り込まれる。

4) 効果的なメッセージを送るために

賞罰に基づく、報酬や強制は、メッセージの受け手にとって重大な結果を引き起こすことができる状況においては、簡単に強い影響力を生み出すが、持続性は弱く、また心理的リアクタンスを生起させ、メッセージと逆方向の態度を引き出してしまう可能性がある。さらに、賞罰に基づく行動パターンが常態化した場合に、合理化されハラスメントの温床となる可能性がある（変性効果）。

親子関係、教師と子どもの関係、医療や福祉における関係など、様々な関係において、正当性や準拠性は日々のコミュニケーションの蓄積によって築かれる。これらは、強力な影響力の源泉であるが、一朝一夕には活用できない。また、不適切な使用（影響力の乱用）が認知されると、影響力の源泉そのものが衰弱化することが危惧される。他者との関係を尊重し、互いにコミットできる人間関係を大切にすることが、効果的なメッセージを送るための基礎といえる。

(c) 非合理的な影響力

近年、人間の非合理的な意思決定システムとしての一面が明らかにされつつある。行動経済学領域においては、人間の不合理の規則性に関する研究が数多くなされている。

例えば、近年の例であれば、消費税が8%から10%に引き上げられた時、駆け込み需要が、メディア等によって大きく取り上げられた。しかし、逆にバーゲンセールで2%OFFと広告したならば、果たして効果があるだろうか？これは、「損失と獲得の心理的な重みの違い」によって説明される。

対人影響場面における、メッセージの送り方についても、「段階的説得法」など、合理的判断を麻痺させる効果のある伝達方が研究されてきた。悪徳商法との関連を含め、本講義で取り扱った「影響力の源泉」の議論に当てはまらない、対人影響のケースを紹介した。

『幸せに向かう先人の言葉』(2) ～明るく楽しく生きていくための『老子』他～

就実短期大学 幼児教育学科 教授 小谷 彰 吾

2019年7月6日(土) 於 S102 教室

1回目で『論語』を中心に『自己を高める生き方』の一つの指針に触れたが、第2回では、受講生の年齢を考慮し、『老子』を中心に取上げて、『第三の人生を楽しく生きる』生涯教育の観点からの学びを進めた。

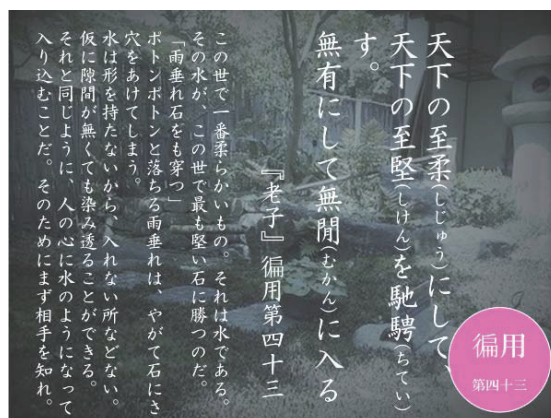
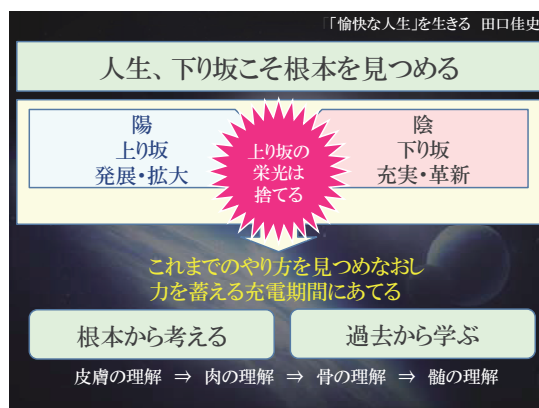
『老子』は、宇宙的視野から自然の偉大さ、人間の小ささを教えてくれるものであり、特に人生後半は『老子』の言葉が琴線に触れることが多い。すなわちエネルギーの減退と共に「自然体」に近づくのである。すなわち自我、欲望、欲求・・・これらの『我』をすてて『上善は水の如し』。低い方へ低い方へと追い求めることなく、自然の力で流されながら生きることを奨励しているのである。

こだわるから苦しむ、かなわぬから挫折する。そうではなく、今、ここ、それがすべてであり、ここに生かされていること自体に『知足』し、自分の命を感じる事が大切なのである。目の前の出来事は、天の計らいであり、あなたにとって必要だからこそ起こっている出来事。「執着心を放棄して」運命や成り行きに任せながら、この世に生かされている短い時間を楽しく旅することが大切だと歴史を超えて教えてくれる。

したがって、己を過信して何かを成し遂げようとか、人為的になりすぎることなく、宇宙の偉大なエネルギーの大きさや自分自身を知る者こそが『智者』であり、そのことで、愉快的な人生、健全な社会は実現に向かう。すなわち、この世で一番柔らかい「水」のように、形を持たず、入れない所などないけれども「石をも穿つ」生き様である。

二回の講義を通して、貫いた「軸」は、『品格』。一回目は、高志に基づくノブレスオブリージュ的品格、二回目は、常に他者を敬い、気遣い、優先する『謙』『敬』などの『品格』。こうした学びは、特に高齢者層には受け入れられやすく、100名近い受講者は、誰一人居眠りをしている人は見受けられなかったが、できればこの学び「小中学生の親の層」に提供したい。

『健全な樹木は、健全な土壌に育つ』ものであるから、大学という『学びの拠点』がより『健全な地域づくりの発信源』として、その役割を果たしていくために、若年層の教養を高めていくような講座を展開することが必要ではないかと感じた地域公開講座となった。



後期講座テーマ

「現代の経営学者は何を考えているのか？」

(2019年9月7日～11月16日)

マーケティングをめぐるグローバル競争—モノづくりとの関係から—

経営学部 経営学科 准教授 加賀美 太 記

1970年代から1990年代にかけて世界市場を席卷した日系エレクトロニクス企業に代わり、2000年代以降は韓国・中国・台湾など東アジア系のエレクトロニクス企業の台頭が著しい。今では、世界のエレクトロニクス市場において圧倒的な存在感を持っているのは、中韓台の企業群である。高い技術を持つとされた日系企業が低迷する一方、東アジア系企業はどのようにして成長を実現したのだろうか。背景となった、モノづくりとマーケティングをめぐる世界的な競争構造の変化を紹介しつつ、今後のマーケティング競争における焦点はどこか、という視点から講義を行った。

1980年代には、「Japan as No. 1」とまで称賛された日本の家電産業の歴史を振り返ると、ソニーと松下電器という2社を除けば、同産業が成長を遂げた大きな要因は米国企業からのOEM提携を通じた技術の蓄積と、OEM提携を通じた米国市場を対象とした地道なマーケティングであった。なお前述の二社も米国市場への積極的な参入は進めていたが、マーケティングを独自におこないOEMを選択しなかった点が特徴である。ところが、1990年代以降は日米欧の先発ブランド企業と後発企業とで新たな国際分業体制が確立する。これらがグローバルに展開しながら、90年代のエレクトロニクスの発展を支えてきた。講義では、とくに後発の東アジア企業が成長を遂げることができた背景を、台湾のICT企業を例に検討した。

注目したのはパソコン市場である。スマートフォンやタブレットの普及に押されているとはいえ、ICT産業にとっては相変わらずパソコンは重要な製品である。このパソコン市場では、近年、東アジア企業が存在感を示している。とくに台湾系企業はノートパソコンの生産量で世界の90%以上を占めている。生産だけでなく、販売面でもブランド力を伸ばした企業がある。その一つがASUSTek（エイスース）である。同社は1990年設立と遅いが、マザーボードの出荷は世界トップの企業である。加えて、ネットブックを開発・販売することで、インターネットの普及と高速無線通信の低価格化を背景とした需要を捉え、販売台数世界トップ10に躍り出た。ネットブックのような革新的製品開発を重視していたことがエイスースの特徴である。

もう一社はACER（エイサー）である。2000年代のIT不況時を契機に、他社の影響を受けやすいOEM/ODM事業を分社化した同社は、製品については模倣戦略と低価格政策を徹底するとともに、チャネル政策に注力した。世界各国・各地域において代理店・量販店を指定して、販売を全面的に委託するなど流通業者経由を重視するだけでなく、販路を確立していた企業に対してM&A政策を実施して販路を拡大することで販売数量を大きく伸ばしてきた。

日本企業が成長を遂げたきっかけとなったのは、米国企業とのOEM提携であった。時が経ち、日本企業が発注側となり新たに東アジア企業が受注側となるなど、関係する主体に変化はあったが、OEM提携の持つ重要性は変わっていない。しかし、かつて製品の特質が変化した現在では、OEMだけで成長を実現できる状況ではなくなっている。ASUSTekとACERの台湾企業の成長プロセスは、OEMの利点を生かしつつ、独自のマーケティングに取り組む重要性を示唆しているのである。

観光創造の最前線 —岡山で何ができるか—

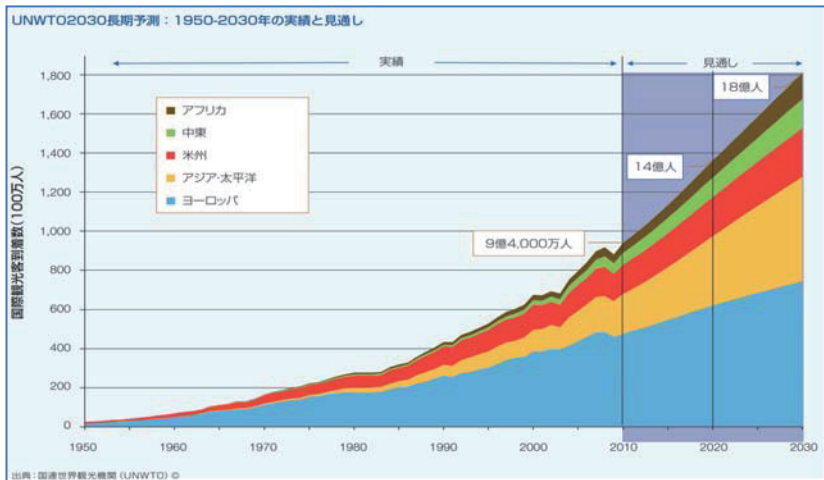
経営学部 経営学科 教授 八 卷 恵 子

楽しみの旅としての観光は近代化を通じて産業化し、20世紀末にはグローバルに展開するエンターテインメントとして発展した。今や観光は世界で3番目に大きな輸出分野になり、ますます成長を続けている。図1は世界観光機関（UNWTO）が発表した人の国際間移動の実績と長期予測である。2018年の国際観光客到着数は14億人（5%アップ）、国際観光収入は1兆7千億ドルであり、今後も大きく伸びていくと予想されている。こんにちの観光は、大きな経済的活動であり、また社会的事象である。世界規模では、10人に1人の雇用を生み出し、GDPの10%、総輸出の7%、サービス輸出の30%を占める、国際通商においては主要な一角であり、また多くの発展途上国にとっては主な収入源の一つとなっている。

表1. 世界の輸出分野

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 化学 | 1兆9930億USドル |
| 2. 石油 | 1兆9600億USドル |
| 3. 国際観光 | 1兆5860億USドル |
| 4. 自動車輸出 | 1兆4700億USドル |
| 5. 食料品輸出 | 1兆466億USドル |

図1. 人の国際間移動長期予測（世界観光機関）



日本の政策として、観光振興は経済戦略である。

このような地球規模の現象を背景に、日本では2003年に、当時の小泉純一郎総理大臣によって観光立国宣言が行われた。観光立国とは、観光によってもたらされる経済効果が国の経済を支える基盤となっている国のことである。日本国内の観光資源を整備して国内外

からの旅行者を誘致することをめざし、国を挙げて観光振興を経済戦略として推し進めるという宣言を、政府がしたのである。当時、日本においてはアウトバウンド（日本人による海外旅行）と比較してインバウンド（訪日外国人旅行）の数はきわめて低く、また観光行動も有名観光地のパターン化されたスタイルが中心であった。インバウンドの推進と、バラエティに富んだ国内観光の誘致を目指すため、国内の観光地の整備とプロモーションに力を入れた結果、徐々に訪日外国人観光者は増加し、2018年には2,868万人と、前年比19.3%もアップした。同年の訪日外国人旅行消費額は4兆4,163億円と17.8%の大幅増である。2020年の東京オリンピックの年には日本政府は4000万人のインバウンド客数を目指している。今や観光は日本の経済成長の主要エンジンとなりつつある。国策として観光を推し進めた結果、日本の国際観光収入は世界9位と、2018年度に初めてトップ10に入ることができた（国際観光機関発表）。世界の国際観光収入はトップ10国だけで世界全体の50%を占めている。日本の国際観光収入は1位のアメリカと比較してたった4分の1である。このような事実を鑑みれば、

日本の観光による経済成長ももう少し期待が持てるかもしれないところである。訪日外国人旅行者と消費額の増加は、日本経済に幅広い影響をもたらすものであり、社会的事象なのである。

図2. 訪日外国人観光者数と日本人出国者数の変遷

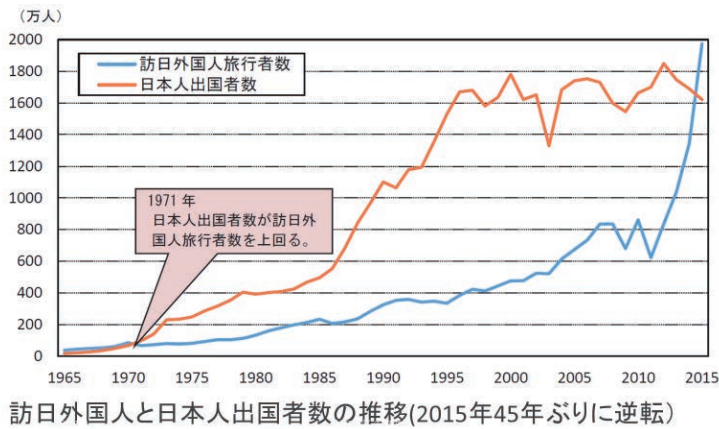


表2. 国際観光収入世界トップ10国(世界観光機関)

1.	アメリカ (2,140 億米ドル、2%アップ)
2.	スペイン (740 億米ドル、4%アップ)
3.	フランス (670 億米ドル、6%アップ)
4.	タイ (630 億米ドル、5%アップ)
5.	イギリス (520 億米ドル、2%アップ)
6.	イタリア (490 億米ドル、7%アップ)
7.	オーストラリア (450 億米ドル、11%アップ)
8.	ドイツ 430 億米ドル、3%アップ)
9.	日本 (410 億米ドル、19%アップ)
10.	中国 (400 億米ドル、21%アップ)

さて、岡山の観光の実態となると、近年は地域振興の基軸にもなっている。そのために、観光振興には産学官民の力を発揮して観光客も増加してきている。しかしながら全国のあらゆる地域が同様の努力を全力で行っており、目立つ成果を上げている地域もあることから、岡山が特筆して観光振興に成功しているとは言いがたい。むしろ、個性的な地域資源に恵まれているにもかかわらず、その本質的な理解に基づいた観光ルートや観光地の整備といった観光商品化とプロモーションにおいては発展途上であり、地域の個性や魅力についての情報が十分に伝達できてはいない。逆に言えば岡山の観光産業はポテンシャルが高く伸びしろがあるとも言える。

国内観光にもインバウンドにもアピールする地域資源として上手に活用したいものの一つに、文化庁認定の日本遺産がある。日本遺産とは、地域の歴史的の魅力や特色を通じて日本の文化や伝統を語るストーリーが認定されるものであり、2015年より始まった事業である。日本遺産は地域固有のユニークなコンテンツが公的に認められるというものである。文化庁が年に一度都道府県を通じて市区町村に公募するもので、認定を受けたコンテンツは観光や地域活性化のために利用できる。岡山県では、「近世日本の教育遺産群 -学ぶ心・礼節の本源-」「近世日本の教育遺産群 -学ぶ心・礼節の本源-」「きっと恋する六古窯(ろっこよう)」「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ~北前船寄港地・船主集落~」「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま~古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語~」「知ってる!?! 悠久の時間が流れる石の島~海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島~」の6つの日本遺産がある。注目したいのは、その多くは県内外の広域ネットワークでストーリーを共有しているということだ。例えば備前市の旧閑谷学校は、近世日本の藩校や郷学、私塾の一つとして、栃木県、茨城県、大分県の同様の史跡とストーリーを共有している。当時の身分制度社会の下で、あらゆる社会階層の子供が読み書き・算術、礼儀などの高い教育を受けた。このことが明治維新以降の日本の近代化の原動力となって現代の日本人国民性に受け継がれている。日本遺産の価値は人づくりの文化的本質にある。その根拠が岡山の史跡からも見られるし、他府県からも知り得ることができるというストーリーだ。美しい建築の見物や座禅体験をして観光が終わるだけではもったいない、広域連携を活用することで人の移動を促すことができる。岡山を俯瞰してみればこそ、岡山の地域資源を活用して日本の壮大な歴史が感じられる旅をつくることのできるのではないだろうか。

就実公開講座「会計学のいま」

経営学部 経営学科 准教授 鈴木 新

2019年10月5日（土）、就実公開講座「現代の経営学者は何を考えているのか？」の第3回目として、「会計学のいま」の講義を行いました。

本講義ではできるだけ会計学を身近に感じてもらえるように時事的な問題を会計の視点から取り上げ、考察を加えることにしました。具体的にはテレビCMで有名なRIZAPグループ株式会社の2019年3月期決算を事例としてM&Aの会計の仕組みと考え方を解説しました。

M&AとはMergers and Acquisitionsの略で企業の合併（2つ以上の企業が1つになること）や買収（ある会社が別会社を買収すること）を指します。RIZAPグループ株式会社は、CMで話題となった個人向けジムが好調なだけでなく、多角化戦略をとり多業種への買収を繰り返すことによって増収増益を続けてきました。

その好業績は同社の採用する国際財務報告基準（IFRS, International Financial Reporting Standards）に準拠したM&Aの会計処理に支えられていました。すなわち相手先企業を安く買収すればするほど、その年の収益が増える仕組みです。日本の会計基準ではこれを本業の収益とは認めませんが、IFRSではこれを本業の営業収益に含めます。

こうした好業績は企業の実力を表していたとは言い難いと考えられます。同社は2019年3月に大幅な赤字を出すことになりました。買収した企業の経営が思うように改善せず、それにより新たな買収もとみやめたためです。同社はいま多角化を改め、本業回帰を掲げてジムに経営資源を集中することで再起を図っています。

国内外の企業買収・合併が話題となる中、約30名の受講者は熱心に受講され、活発な質疑応答が行われました。



食肉流通の現状

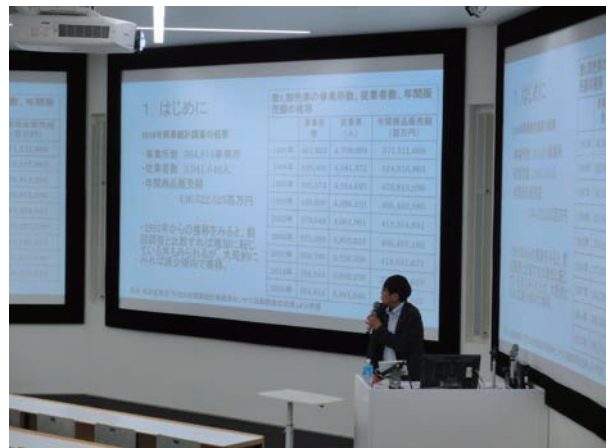
経営学部 経営学科 講師 寺前 俊孝

当日（2019年10月12日（土））は台風による悪天候にも関わらず、18名の参加者があった。はじめに、食肉に関わる商業統計調査（2016年度）の結果より、卸売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額は減少傾向で推移しているが、食肉消費量は増加傾向にあり、豚肉、鶏肉は増えているものの、牛肉の消費量は減少しているとの分析結果を示された。続いて、食肉購買行動の現状を紹介され、食肉購入時の重視項目は、価格、国産、鮮度、産地・銘柄（ブランド）であり、BSEや鳥インフルエンザの発生、食中毒事件などが消費者の食肉消費に影響を与えていることを考えれば、その不安を取り除くことが重要であるとのお話をされた。

次に、アンケート調査結果の概要として、東海3県（愛知、岐阜、三重）の食肉卸売業者を対象にアンケート調査を実施（2015年9月～12月。配布枚数170枚、回答枚数79枚。回収率：46.4%）した結果、業歴は40年超が半数を超えている、従業員数は100人以下が8割以上を占める、取扱商品は牛肉に比べて豚肉や鶏肉の扱いが多い、取扱形態は部分肉・冷凍の扱いが多い、売上に占める輸入肉の割合は10%以下が過半数であること等を紹介された。また、仕入と販売に関する調査では、仕入時に重視する点は価格が最多であり、販売先は小売業が最多、販売先数では、50社超が半数弱で2次卸売業者が多いと考えられること、販売時に重視していることは、第1に価格、第2に衛生管理、その他、肉色、産地銘柄、脂肪交雑の順であった。また、パック詰めの手扱いは6割弱が取り扱っていること、自主企画の商品の販売は6割強が販売しており、種別内容は食肉加工品、食肉総菜、自社ブランドの銘柄牛の順であった。全体の53.5%が食肉卸売業以外の業務を行っており、業務内容としては精肉専門店が最多で、続いて外食業であった。最近の傾向として、仕入価格と商品販売価格、商品取扱数量、商品取扱品目数、販売額、利益率や経営状況について紹介された後、経営方針としてすでに取り組んでいること、今後取り組みたいこと、現在と今後や新規参入を希望している事業や今後の輸入食肉の取り扱いの結果を紹介された。

講演の後半は、卸売事業、肥育事業、食肉加工品の製造・販売について等のインタビューによる事例を紹介された後、全体からみえる傾向として、加工度の向上、生産者との連携、事業の多角化、展望として他の事業への取組み、安全性、顧客との関係性向上に向けて、地元ブランド食肉の認知度向上や地域との連携に触れ、生産から販売まで一貫として行う取り組みは、食肉の生産と流通を一つの産業としてとらえる上で重要であり、今後の食肉卸売業者の一つの方向性であるとのお話で締めくくられた。

（2020年2月 寺前先生ご逝去のため、本学のホームページで紹介した内容を再掲いたします。寺前先生の本学教育へのご尽力に心から感謝の意を表し、御冥福をお祈りいたします。）



間接顧客マーケティング研究の動向

経営学部 経営学科 准教授 青山 允隆

一般的に、産業財メーカーのマーケティング活動は、直接取引のある顧客（直接顧客）の需要動向のみならず、直接顧客の顧客（間接顧客）以下の需要（派生需要）動向も考慮する必要があるといわれている。産業財をマーケティングする際に派生需要まで考慮しなければならないという指摘は少なくとも1980年代からあったものの、派生需要を充足・刺激するための戦略が実際に成果に結びつくのか、産業財メーカーがそうした戦略を遂行する際にどのような難しさに直面するのか、といった問題について活発に研究されるようになったのは2010年代に入ってからのことである。本講義では、派生需要を充足・刺激するための戦略として製品開発論やマーケティング論の領域でそれぞれ研究されてきたものを「間接顧客マーケティング」としてまとめ、それらの最新の研究動向を紹介した。

講義内容

1. オープニングトーク
 - ・ 韓国のホワイト国除外が示すもの
 - ・ ノーベル化学賞吉野氏の言葉に思うこと
 - ・ 日本の強みは川上にアリ？
2. 産業財マーケティングとは
 - ・ 産業財マーケティング？
 - ・ 需要の派生性・間接顧客マーケティング
3. 間接顧客マーケティングとは
 - ・ 間接顧客マーケティング戦略の種類
 - ・ なぜ間接顧客マーケティングが重要なのか
 - ・ 間接顧客マーケティングを巡る駆け引き



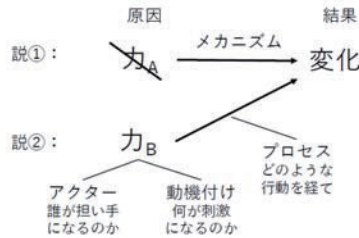
変化のダイナミクス

競争戦略論・組織論研究からの知見

経営学部 経営学科 講師 大 倉 健

題意

- dynamics 英, dynamikos 希: 「動かす力」、「力の働き方(力学)」の意
- 変化: 新しい技術や製品、文化、習慣、制度が現れる、既存のものに取って代わる



1

2つの例

- パソコンが世に出てくるはなし
- 人工内耳 cochlear implant のはなし

2

2つのはなしのポイントは？ 2つの注目点

- 誰が担い手か？
 - ・ 企業（組織）や企業家（ヒーロー）といった、「顕著で、大きな力を持った一つの主体」ではない、一種の鳥合の衆あるいは **society** が担い手になる
 - ・ パソコン: 同好の士からなる **society** 「一昧」、「同志」?
 - ・ 人工内耳: ろう者の **society**
- なにが行動を動機づけるのか？
 - ・ (単純な意味での) 「合理性」(効率性、技術的優秀性、経済性…)とはやや異なる文化、**社会的な価値観**が、喜びや怒りといった強い感情を誘発する
 - ・ パソコン: 「人民の自由の象徴」、とにかく触って遊びたい
 - ・ 人工内耳: 「ろうという文化への侵略」

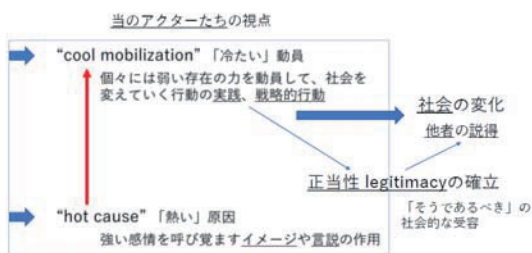
3

インプリケーション: プロセスへの注目

- 誰が担い手か？
 - ・ 企業（組織）や企業家（ヒーロー）といった、「顕著で、大きな力を持った一つの主体」ではない、一種の鳥合の衆あるいは **society** が担い手になる
 - ・ パソコン: 同好の士からなる **society**
 - ・ 人工内耳: ろう者の **society**
 - なにが行動を動機づけるのか？
 - ・ (単純な意味での) 「合理性」(効率性、技術的優秀性、経済性…)とはやや異なる文化、**社会的な価値観**が、喜びや怒りといった強い感情を誘発する
 - ・ パソコン: 「人民の自由の象徴」、とにかく触って遊びたい
 - ・ 人工内耳: 「ろうという文化への侵略」
- “cool mobilization” 「冷たい」動員
 個々には弱い存在の力を動員して、社会を変えていく行動の実践、戦略的行動
 → “hot cause” 「熱い」原因
 強い感情を呼び覚ますイメージや言説的作用

4

プロセスへのさらなる注目: 実践の中身



5

何が言えるのか？

- 見過ごされやすいアクターの存在
 - ・ 一つの組織（企業）やヒーロー（個人）とは異なるもの
 - ・ それらが無くていいというわけではなく、それらだけではそのようには進まなかったかもしれない
- 動機付けをめぐる問題
 - ・ 「変化」には公共財の側面がある
- 変化の中断、挫折といった現象の説明
 - ・ hot causeの欠如
 - ・ 感情や想像力をかき立てる言葉、イメージ
 - ・ hot causeはあるが、cool mobilizationが欠如する
 - ・ legitimacyの確立に向けた、戦略的で継続的な（協力的）行動

6

文化財講座

(2019年5月18日)

福山市の伝統産業と歴史的な街並み見学

人文科学部 総合歴史学科 教授 吉本 勇

2019年5月18日(土)に本学文化財講座が開催された。(参加者は21名)表題のテーマで、広島県福山市の松永はきもの資料館(愛称あしあとスクエア)と鞆の浦歴史民俗資料館と街並み散策を実施しました。

最初に訪れた「あしあとスクエア」は、2015年に旧日本はきもの博物館、日本郷土玩具博物館をリニューアルオープンしたもので、松永地域の産業を支えた下駄、い草、塩の生産関連の資料を収蔵、展示しています。はきものは暮らしの道具として、さらにファッションとして発展してきた様々なはきものを、労働、信仰儀礼、芸能などの用途別、形別に展示しています。また「栄光のはきものコーナー」では、広島東洋カープに在籍した黒田、前田投手をはじめ、菊池内野手やオリックス当時のイチロー外野手のスパイクを展示しています。また郷土玩具コレクションもあり、日本全国の特徴ある郷土玩具の展示のほかにも、アメリカのアリゾナ州北東部の先住民族が作った精霊人形のカチナ人形も展示しています。

その後鞆の浦に向かい、昼食会場へ。昼食は2008年にオープンしたレストラン兼旅館として再生した町家での食事を楽しんだ。この建物は「いろは丸事件」で坂本龍馬が談判した歴史の舞台にも登場する町家として有名である。建物はアニメーション作家である宮崎駿監督のデッサンしたものを活かして復元したものである。そのデッサンも客室に飾られています。

そこから多くの映画、テレビドラマ、CMなどに登場する街のシンボルである常夜燈へ。常夜燈は1859年に建てられた船の出入りを誘導してきた高さ5.5mの灯台で、現存する江戸時代の常夜燈としては日本一の大きさを誇るものであり、古い港町の風景に溶け込んでいる。

そして街の中心にそびえる高台にある城趾へ上った。そこに建つ古代から近世に至る歴史資料や民俗資料などを展示する鞆の浦歴史民俗資料館を見学した。資料館では万葉集にも登場する古来から港町として栄えた鞆の浦を中心とした瀬戸内の歴史と文化を紹介する施設である。鯛網漁のジオラマやイカリ作りの鍛冶場などが展示されている。

見学後は自由散策とし、「都市景観100選」、「美しい日本の歴史的風土100選」に選ばれた街並み、1867年に鞆沖で沈んだ「いろは丸」からの引き揚げものを展示している「いろは丸展示館」、朝鮮通信使をもてなした客殿である「対潮楼」、いろは丸事件で坂本龍馬が滞在していた邸宅で、国の重要文化財にも指定された(江戸時代から作られている)薬用酒の「保命酒」の蔵元であった「太田家住宅」、南北朝時代の戦死者を弔うために足利兄弟が建てた「安国寺」をはじめ、古寺が建並ぶ界限などを満喫することができました。(写真は次ページに掲載)



(松永) あしもとスクエアにある
巨大下駄



(鞆) 常夜燈のある港



(鞆) 古い街並み



(鞆) 城趾からの眺望

学科・研究所・センター等主催事業

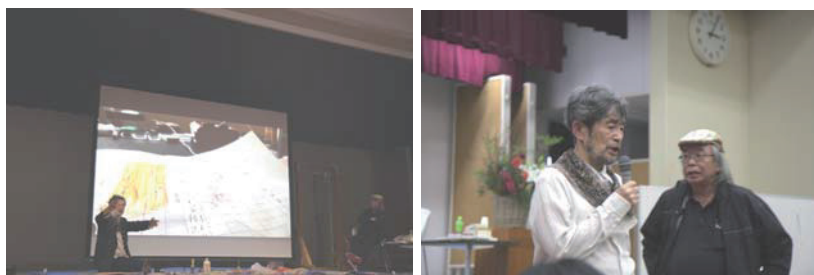
主催(学科・研究所等)	人文科学部 表現文化学科		
行 事 名	就実表現文化のつどい 2019 ～ 声とことばをからだで磨く ～		
講 師 ・ 招 聘 団 体	講師：多田慶子（俳優）		
日 時	2019年5月25日 13:00-16:30	場 所	音楽ホール T611& ダンス室 T608
対 象 者	学科学生＋地域におけるダンス・演劇指導者及び愛好者	参 加 人 数	120名
概要（本文・写真・図等）			
<p>講師多田慶子氏は早稲田小劇場に入団後、白石加代子らとともに国内外の公演に出演し、退団後は演劇・ダンスを企画するかもねぎショットを創設して活動。数々の舞台活動ほかNHK朝ドラ「あぐり」にレギュラー出演など演技に定評のある俳優である。我が表現文化学科では学科の立ち上げ以来、多田氏に演劇分野の集中講義（非常勤）をご担当いただいている。しかし、多田氏は関東在住であることから、学生たちは多田氏の舞台活動を鑑賞する機会には恵まれなかった。</p> <p>今回は「たった一人で舞台に立つ」ということの重みを学生に感じてもらいたいという意図から、上演のみならず、多田氏の許可を得て前日のリハーサルも開示していただき、緊張感あふれる舞台裏のプロセスと本番の切り替えを見せていただくことができた。（上演鑑賞者約120名）</p> <p>公演後には、表現文化学科の機関紙「表現文化だより」の編集委員の学生が舞台上に加わり、アフタートークを行なった。プロの表現者から直接演技のコツを伺うことができ、より演技についての理解を深めることができた。</p> <p>その後、会場をダンス室 T608 に移して、約60名ほどを対象に実践的ワークを行った。身体のワークを通して自身の内面に会い、他者と出会い、関係をほぐしたり、自身を深く理解する旅に導いていただけた貴重な時間であった。</p>			

主	催	人文科学部 表現文化学科		
行	事	令和元年度表現文化学会 公開学術公演『廃星がさゝやく、宇宙（セカイ）のすきまに／を震えヨ』		
講	師	吉増剛造（詩人）・山本光久（翻訳家）		
日	付	2019年11月2日	場	所 本学 R601 教室
対	象	者 表現文化学科学生、一般	参	加 人 数 学生 150 名、一般 15 名

概要（本文・写真・図等）

2019年11月2日土曜日、本学R601にて、2019年度表現文化学会学術講演会が開催された。今回は詩人、吉増剛造氏と翻訳家、山本光久氏の対談であった。

講演は聴衆を異次元に誘う誘惑に満ちていた。殊に、吉増氏の冒頭のパフォーマンスである。客席は暗転し、ライトが唯一あたる舞台には、薄く延ばした銅板が敷かれ、その上に巻物が広げられている。それは、氏が敬愛する吉本隆明の詩をカタカナで書写したものだ。さらに、巻物のところどころに様々な芸術家の文章を書写した、紙が貼付され、沈んだ朱色、藍色、白色の絵の具がまき散らされている。周辺には、アジアの森林と嗅ぎまがう香がくゆっている。巻物の前に端然と座る吉増氏。右手には、化石採掘に使用する金槌。時折、その金槌で銅板を打ち、静寂を破る。口を白いマスクで覆い、眼を黒いマスクで覆い隠している。繰り返しの中で、退屈しながらも安心している我々の虚を否応なく衝いてくる怖さがある。「底なしの重ね写しの入れ子」になっている「コーラ」（場）にポロックのドリッピングが加わり、したたりの音。つまり、「言語の底にある表現」をさらに「破壊する表現」を聞き取ろうとしている。テキストの上に破壊するために重ねられたテキスト、惑乱を伴うパランプセスト（見せ消チ）。われわれ聴衆は、詩が誕生する場所に誘われたということである。やがて、舞台のスクリーンに、宮城県牡鹿半島と石巻市内で開催された、「リボンフェスティバル」での吉増氏の活動フィルムが映写され、シーンをたどりながら、吉増、山本両氏の対談が展開していった。吉増氏は、鮎川エリアの「詩人の家」活動を通して被災地の心の復興をはかり、滞在したホテルニューさか井《room キンカザン》のガラス窓に詩「巨魚」（いさな）を書き残した。映写されたものは、「巨魚」制作過程を映像化した「Mademoiselle KINKAへ」であるらしい。ラポルテが『探求』でジャコメッティの芸術論にそくして、生成するものを芸術ととらえたとの山本氏の発言に対し、吉増氏はうなずき、「パウル・クレーの日記」にも、同様の指摘があり、「何よりも大事なものは、物事が生成していく、何かが生まれていく途上の方が大事なんだと言っている」と言を継いだ。最後に、自作の詩を朗唱し、会は終了した。突き刺さった刃物が年月を経てさびつき、それを抜き取られる痛みで発する大地の悲鳴のような朗唱だった。



主 催	人文科学部 実践英語学科		
行 事 名	ITCL 第46回日本公演 就実大学公演『真夏の夜の夢』		
講 師	International Theatre Company London		
日 付	2019年5月22日	場 所	本学 R601 教室
対 象 者	学生、教員、一般	参 加 人 数	350名

概要

2019年度就実大学実践英語学科主催 International Theatre Company London によるシェイクスピア演劇 *A Midsummer Night's Dream* (『真夏の夜の夢』) の公演が5月22日(水)午後3時30分よりR館601講義室にて行われた。

舞台はアテネ近郊の森。森では妖精王オーベロンと女王ティターニアが喧嘩し仲違いしていた。機嫌を損ねたオーベロンは、妖精パックを使ってティターニアのまぶたに花の汁から作った媚薬をぬらせる。この媚薬は目を覚まして最初に見たものに恋する作用がある。森で眠っていたライサンダーたちにも妖精パックが媚薬を塗ってしまいライサンダーとディミートリアスがヘレナに恋をして、ハーミアを含む4人の関係が逆になる。更に妖精パックは職人ボトムの頭をロバに変えて、目を覚ましたティターニアはこの奇妙なロバに惚れてしまう。オーベロンはティターニアが気の毒になり、ボトムの頭からロバの頭をとりさりティターニアにかかった魔法を解いて二人は和解する。又、ライサンダーにかかった魔法も解かれ、ハーミアとの関係も元通りになる。一方、ディミートリアスはヘレナに求愛し、最後には2組の男女、妖精の王と女王は円満になり、職人たちもアテネ公シーシアスと女王ヒポリタの結婚式で無事に劇を行う。

本公演では舞台と観客との距離をコミカルに縮めるために、登場人物の特徴や擬音語が日本語で書かれたプラカードを観客に見せながらおどける様子が披露された。またバイオリンやシンバルなどの楽器の音色を通して妖精パックの魔法をかける雰囲気強調していた。実践英語学科の学生達はもちろんの事、例年通り学外からも多くの方が観劇に来られ「大学と地域との触れ合いになってとてもいい」「外国の劇場にいる感じでよかった」「地方での英語演劇の上演は大変有難いです」と好評を得ている。限られた人数の俳優が簡素な舞台装置を最大限に駆使しながら、生の英語によるシェイクスピアの台詞を通して、舞台と観客、地域と大学、日本と英国が笑いを共有出来た貴重な一日となった。



主催	教育心理学科・就実大学教育心理学会		
行 事 名	キャリア・就心会講演会（共催）		
講 師	萩野みゆき先生（牧石小），糸島美穂先生（野上小），今村咲子先生（磐梨中）		
日 付	2019年7月13日	場 所	B101
対 象 者	教育心理学科学生	参 加 人 数	104名

概要

教育心理学科では、毎年、7月にキャリア・就心会共催の講演会を開催している。

本年度は、本学科を卒業した学生が養護教諭として働き、数年経過したことから、本学での学びと、教採、就職後の実体験から、本学での学びをどのように将来へ活かせばよいのか、また、現場のノウハウを学ぶために現役養護教諭の卒業生3名を招き、在学生の質問、悩みに対してQ&A形式で、「卒業生に聞く社会生活・教員生活」と題した講演会を開催した。

本会は、事前に在学生から講師に対して質問や悩み等を募集し、これらを集約し、一人ずつそれぞれの見解やアドバイス、意見交換を行った。


（本学科学生コメント）

大学生活や学びについては、先生方の大学生活での不安や大切だと感じたことなど、努力が垣間見えるお話ばかりでこれからの大学生活にとっても参考になるお話ばかりでした。社会生活では「社会人と学生の違い」についての質問に対して3名の先生がみんな「責任の重さ」であるとお話されたことはとても印象に残りました。特に責任を持つこと

のできる人間に成長することが私たちにとって大切なことだと学ぶことができました。教員生活では「子どもとの信頼関係を保つための距離感」がとても印象に残りました。支えケアするという姿勢は、子どもの気持ちに寄り添いつつも必要以上に入り込まないことが大切なポイントだということに気づくことができました。また、子どもたちと校門や教室、廊下で行う挨拶には、単に礼儀に留まらず、先生が「見守ってくれている」「支えてくれている」という安心感や信頼関係を築くために有効な手段であるというお話しにとても感銘を受けました。

令和元年
キャリア・就心会講演会（共催）

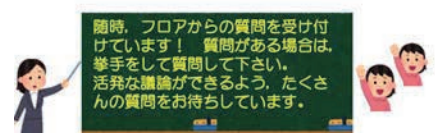
1. 開会（司会挨拶）
2. 就実大学教育心理学会長挨拶（森先生）
3. 講師紹介
4. 講演会の進め方
5. 講演会（大学生生活・社会生活・教員生活）
6. 質疑応答
7. 御礼
8. 閉会



講演会の進め方

皆さんから集めた質問から、質問の多かった内容やこれは大切！と思う内容をピックアップしました。

質問リストに沿ってQ&A形式で進行します。各セッションは約25分の予定です。



随時、フロアからの質問を受け付けています！質問がある場合は、挙手をして質問して下さい。活発な議論ができるよう、たくさんの質問をお待ちしています。



主 催	就実大学教育心理学会		
行 事 名	就心会会員企画「聞いて×話してLGBT～わかったつもりのその先へ～」		
講 師	プラウド岡山 代表 鈴木富美子 ほか		
日 付	2019年7月13日	場 所	S513
対 象 者	本学学生および周辺大学生	参 加 人 数	延べ50名程度

概要

本企画は、養護教諭をはじめとする将来子どもと関わる職業を目指す学生を対象に、セクシュアルマイノリティについての知識・理解深めることを目的とした。

本企画は、本会会員（教育心理学科3年学生）が、企画したものである。本企画は2部構成で行い、1回目は講演会、2回目はワークショップを実施した。

1回目の講演では、セクシュアルマイノリティに関する基礎的な知識を得ることをねらいとする。鈴木富美子先生よりセクシュアルマイノリティに関する基礎知識や、学校におけるセクシュアルマイノリティの子どもの現状や対応等についてお話して頂いた。

2回目のワークショップでは、セクシュアルマイノリティに関する理解を深めることをねらいとし、セクシュアルマイノリティの当事者の方（2名）を招き、小グループごとに当事者の方との対話や参加者同士での意見交換等を行った。

企画者のコメント（抜粋）

本企画の副題であるには、「LGBTという言葉の意味を正確に説明できるからといって、性の多様性について理解しているとはいえないのではないか」という意味を込めていました。参加者のみなさんは、性の多様性について正しい知識を学んだだけでなく、知識による理解を超えた学びや気づきがあったのではないかと思います。しかし、今回の企画はあくまで性の多様性について考える“はじめの一歩”として捉えてほしいと思います。今回学んだこと気付いたことを踏まえて、今後の生活の中でも性の多様性について考え、支援者としてどうしていくといいのかを考え続けてもらえたらと思っています。



就心会会員企画・記事写真：巻幡 楓花（3年）を一部加筆修正

主 催	教育心理学科		
行 事 名	エイズカフェ		
講 師			
日 付	2019年10月27日	場 所	B館2階
対 象 者	本学学生および周辺大学生	参 加 人 数	106名

概要

なでしこ祭における本学科イベントブース（ハートカフェ）において、エイズカフェを同時開催した。本イベントでは、本学学生並びに地域の同世代の若者に対して性感染症に対する正しい理解を促すため学生らが展示やクイズ形式で参加者らとともにについて学びを深めた。

以下は、本イベントが山陽新聞（2019年10月29日）に掲載された記事。



2019年10月29日山陽新聞より



主 催	薬学部 薬学科（薬学部公開講座委員会）		
行 事 名	第1回就実大学薬学部地域連携教育講座 次世代の薬剤師～実務実習でやるべきこととは～ 愛、希望、これからの医療と薬剤師～次世代につなぐ国創りを目指して～		
講 師	本江 誠 先生 （岡山県薬剤師会薬局実習委員会担当理事） 本田 あきこ 先生 （日本薬剤師連盟副会長）		
日 時	2019年4月14日	場 所	本学 S102 教室
対 象 者	薬剤師、卒業生、在学生、 一般	参 加 人 数	211名

概要

本研修会では、岡山県薬剤師会薬局実習委員会担当理事である本江誠先生より、「次世代の薬剤師～実務実習でやるべきこととは～」と題して、日本薬剤師連盟副会長である本田あきこ先生より、「愛、希望、これからの医療と薬剤師～次世代につなぐ国創りを目指して～」という題目で9:30から12:30まで講演が行われた。

まず、本江誠先生より、改訂モデルコアカリキュラム対応の実務実習についてのご講演があった。講演の中で、メタ認知というキーワードが提示され、実務実習の指導において、現場薬剤師には客観性と制御が必要になるという要点が示された。学生が実習するにあたっての指導薬剤師側の注意点や学生に気づきを与える工夫などが挙げられ、中身のある実習への提言がなされた。

次に、本田あきこ先生より、薬剤師の置かれている現状について歴史を交えつつ説明があった。医薬分業から薬剤師法の法改正、熊本や岡山での薬剤師による災害対応についてなど本田先生が体験された事例の説明があり、薬剤師の職能の拡大と発信力の向上の必要性についてのお話があった。今後は、本田先生の活動を通して、地域住民から愛される薬剤師、薬業界を目指し、努力していきたいとのことであった。

講演終了後の質疑応答では会場から多数の質問が寄せられ、本江先生には薬剤師として実習に来る学生に求めることや、新カリにあたって学生への指導で変わった点は何か等の質問があり、回答がなされた。本田先生には、薬剤師の将来像と医療に取り組む姿勢に関する質疑応答が行われた。講演が終了しても、本江先生や本田先生に質問が行われるなど関心の高さがうかがえた。



主 催	薬学部 薬学科（薬学部公開講座委員会）		
行 事 名	第2回就実大学薬学部地域連携教育講座 「かかりつけ薬剤師・薬局とプロトコルに基づく薬物治療管理」		
講 師	安原 真人 先生（帝京大学薬学部 地域医療薬学研究室）		
日 時	2019年5月26日	場 所	本学110周年記念ホール
対 象 者	薬剤師、卒業生、在学生、 一般医療従事者	参加人数	119名

概要

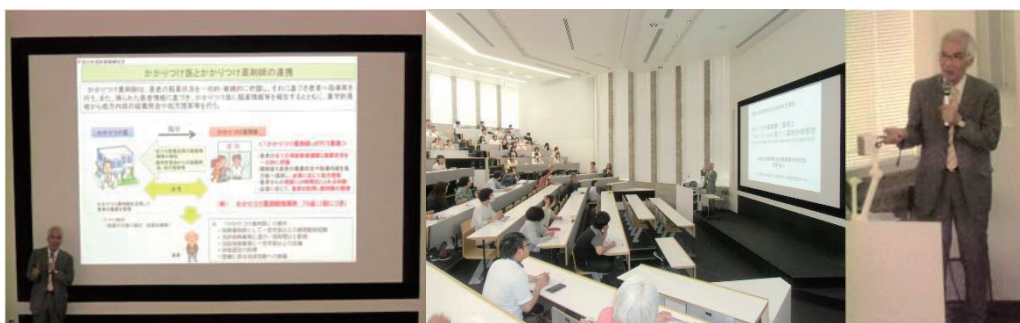
本研修会では、帝京大学薬学部特任教授の安原真人生より、「かかりつけ薬剤師・薬局とプロトコルに基づく薬物治療管理」という題目で、9:30から12:30まで講演が行われた。

講演の冒頭では、我が国が地域包括ケアシステムにより良質な医療提供体制を構築しようとする政府の推進政策が紹介され、薬局や薬剤師が適切な薬物療法を提供するためには何が必要なのかについて聴講者に質問が投げかけられた。また、現在の医薬分業制度について、実際の医療現場では、分業のメリットが患者さんや薬剤師以外の医療従事者の方にはほとんど感じられていないことが問題として挙げられ、驚きを隠せない聴講者も多かった。

約3時間の講演は、まず、文部・厚生行政による医療政策の過去45年間の展開を振り返り、薬剤師を取り巻く現状が紹介された。次いで、これらを背景とした現在の地域医療について、薬剤師が担うチーム医療の在り方を考える、という流れで行われた。具体的には、講演の前半では、「患者のための薬局ビジョン」が提示され、平成25～27年度に医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業として実施された「薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究」に関する報告がなされた。特に、プロトコルに基づく薬物治療管理（PBPM）の導入マニュアルの作成から実際の運用に至るまでの経緯について、その詳細な説明がなされた。また、講演の後半では、実際にPBPMを外來抗がん薬治療に適用した事例が紹介され、病院とかかりつけ薬局が協働して薬物療法を実施することがこれからの医薬分業に対する理解を高めることに繋がるのではないかと提言された。

一方、講演会場は多くの聴講者で埋め尽くされ、安原先生の講演を熱心に聞き入る姿が見うけられた。また、講演後は活発な質疑応答が繰り広げられ、会場は終始熱気に包まれていた。

以上のような講演と質疑応答を終え、最後に安原先生から、地域医療に従事する薬剤師・薬学関係者に向けた激励の言葉を頂き、会場からの盛大な拍手と共に講演会の幕を閉じた。



主 催	薬学部 薬学科（薬学部公開講座委員会）		
行 事 名	第3回就実大学薬学部地域連携教育講座 「健康食品の問題点と薬剤師の知らねばならむこと」		
講 師	長村 洋一 先生 (一般社団法人日本食品安全協会理事長 鈴鹿医療科学大学副学長)		
日 時	2019年6月16日	場 所	本学 S102 教室
対 象 者	薬剤師、卒業生、在学生、 一般	参加人数	128名

概要

本研修会では、一般社団法人日本食品安全協会理事長 鈴鹿医療科学大学副学長である長村洋一先生より、「健康食品の問題点と薬剤師の知らねばならむこと」という題目で、9:30 から 12:30 まで講演が行われた。

講演では、前半の話題として、「健康食品も含めた食品は安全なものとの考えは危険です」、「栄養素でも過剰摂取で死者まで出ています」、「健康食品＝副作用の無い薬だから安心の誤りと悲劇」、「お薬と一緒に健康食品を摂るのは危険です」 の4つの話題を提示された。その中で、「ある物質が毒物であるか無いかは単にその量に依存する」というパラケルススの有名な言葉を引用され、トリプトファンやβ-カロテン、茶カテキンを例に挙げ、健康食品を長く摂り続けて安全かどうかは分かっていないものがほとんどであることを述べられた。

後半には、「ではどんな健康食品が良いのでしょうか」、「保証のない健康食品より副作用の少ない医薬品がお勧めです」、「薬剤師として健康食品とどう向き合うか」 の3つの話題が提示された。その中で、機能性表示食品の届出等に関するガイドラインをもとに、摂っても良い健康食品は4つ [国が審査して許可している特定保健用食品（トクホ）と特別用途食品、企業の責任で義務付けられている栄養機能食品と機能性表示食品]があり、これ以外はコマーシャルは良くてもどんな危険性があるか分からないことや、医薬部外品や第3類医薬品はGMPに準拠したもので品質が保証されており、健康食品に比べて有効性は明確であり、安全性においても一定の基準があるため、グルコサミンやコンドロイチンが入った商品やビタミンがバランスよく入っている商品など、健康食品の世界では売れ筋の商品と同様な効果が保証されている安全な医薬部外品、第2類または3類医薬品があることを紹介された。

講演終了後の質疑応答では会場から多数の質問が寄せられ、健康食品に対する関心の高さがうかがえた。



主 催	薬学部 薬学科 (薬学部公開講座委員会)		
行 事 名	第 4 回就実大学薬学部地域連携教育講座 第1部「多職種連携で進める地域包括ケアシステムにおける薬剤師の素敵な役割」 第 2 部「薬剤師が患者コミュニケーションに活かせるコーチング ～真のかかりつけ薬剤師を目指して～		
講 師	大澤 光司 先生 ((株) メディカルグリーン 代表取締役社長)		
日 時	2019 年 9 月 1 日	場 所	本学 B 館 B106
対 象 者	薬剤師、卒業生、在学生、 一般医療従事者	参 加 人 数	108 名

概要

本研修会では (株) メディカルグリーン代表取締役社長・大澤光司先生より、第 1 部「多職種連携で進める地域包括ケアシステムにおける薬剤師の素敵な役割」および第 2 部「薬剤師が患者コミュニケーションに活かせるコーチング ～ 真のかかりつけ薬剤師を目指して～」の演題にて、9:30 より 12:30 まで講演が行われた。

第 1 部では、冒頭に我が国の高齢化に伴い医療の役割に変化がみられ、これまでの専門医による病院での病気の治療を中心とした「急性期医療」から、かかりつけ医による地域での緩和医療を



中心とする「看取り医療」へ移行している現状が紹介された。今後は住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることを望む患者が益々増加することが見込まれる。この現状に対応するためには、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が必要となる。薬剤師は「在宅医療」および「多職種連携」を通して地域包括ケアシステムの一端を担うこととなる。即ち、薬剤師は、セルフメディケーションを含む薬物療法を安全かつ効果的に実施するために薬の専門家としてアドバイスを行うことや、医師と介護職とのスムーズな情報交換の

橋渡し役となることが必要となる。したがって、薬剤師は自覚と自信、責任感を持って業務に携わらなければならないとのことだった。

第 2 部では、薬剤師が地域包括ケアシステムに参画するにあたり、これまで以上に高いコミュニケーション能力が必要となることが要求され、そのための手法が聴講者参加型で紹介された。その一つが「コーチング」と呼ばれる手法であり、実際は個々が抱えている目標や課題を引き出し、自らの力により解決に導く手法である。また、コミュニケーションにおいては「プロモーター」「サポーター」「アナライザー」「コントローラー」の 4 タイプがあることが紹介され、聴講者全員が自らのタイプを判断するテストを行った。薬剤師自らおよび患者のコミュニケーションタイプを理解し、コーチングの手法を取り入れることにより、患者に信頼される薬剤師としての「かかりつけ薬剤師」を目指して、笑顔を絶やさず頑張りましょう！との言葉で講演会が終了した。



主 催	薬学部 薬学科 (薬学部公開講座委員会)		
行 事 名	第 5 回就実大学薬学部地域連携教育講座 「薬剤師が取り組む研究 ～よりよい医療の提供を目指す薬剤師の挑戦～」		
講 師	<ul style="list-style-type: none"> ・森秀治先生 (就実大学薬学部医療薬学研究科長) ・増田展利先生 (大学院修了生、病院薬剤師) ・小川 壮寛先生 (大学院修了生、薬局薬剤師) ・広本 篤先生 (大学院生、薬局薬剤師) 		
日 時	2019 年 11 月 24 日	場 所	本学 S102 教室
対 象 者	薬剤師、卒業生、在学生、	参 加 人 数	85 名

概要

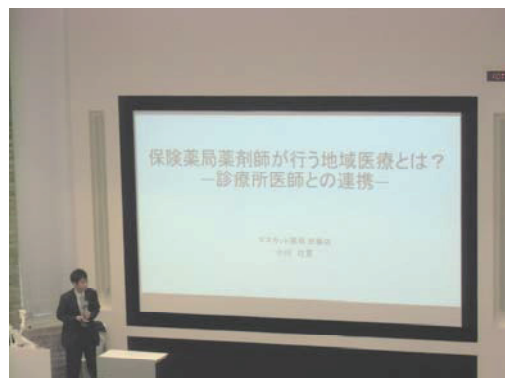
本研修会では、まず就実大学大学院医療薬学研究科長である森秀治先生より、「令和時代のキャリアパス～大学院で磨く・高める・創る～」という題目で講演が行われた。

次に、就実大学大学院修了生であり、津山中央記念病院薬剤部 副部長の増田展利先生より、「バンコマイシン投与患者データを有効活用した論文作成について」と題した講演が行われた。

更に、就実大学大学院修了生であり、マスカット薬局奈義店薬局長・管理薬剤師である小川壮寛先生より、「保険薬局薬剤師が行う地域医療とは？－診療所医師との連携－」と題した講演が行われた。

最後に、就実大学大学院生であり、コーモト薬局代表取締役の広本篤先生より、「統計学を用いて薬剤師発の臨床エビデンスを創出する」と題した講演が行われた。

講演終了後の質疑応答では会場から多数の質問が寄せられ、大学院における研究と学位取得に対する関心の高さがうかがえた。



主 催	幼児教育学科		
行 事 名	就実やんちゃキッズ（地域子育て支援の取り組み）		
講 師	幼児教育学科1・2年生（GBA 中四国保育学生研究大会参加メンバー）		
日 付	2019年4月～2020年1月	場 所	本学体育館アリーナ
対 象 者	就学前の子どもと保護	参 加 人 数	1763名(子ども929名 保護者838名)

概要

幼児教育学科では、学生ボランティアグループ GBA と、中四国保育学生研究大会参加学生による地域子育て支援活動『就実やんちゃキッズ』開催を支援している。やんちゃキッズは、本年度で13周年を迎えた。地域の子育て支援活動として、徐々に認知されるようになってきており、子育て世帯が、安心して子どもといっしょに過ごすことのできる場を提供している。学生たちにとっては、他者との協調や配慮を学ぶ場、授業での学修を試す場、保育・幼児教育に関する専門的な知識や技術を磨く場となっている。

「就実やんちゃキッズ～きてみてあそぼうでえ～」の実施概要（2019年4月～2020年1月）

本学体育館アリーナを会場とし、4月27日、6月22日、11月16日、1月25日の計4回開催した。開場が9時30分、開演は10時で11時30分までの90分間である。プログラムの前半部では、学生が地域の就学前の子どもを対象に公演を行った。学生たちは、授業で学んだことを活かしながら、パネルシアター・リズム体操・オペレッタを披露し、幕間には手遊びを行った。後半部では子どもたちや保護者と遊びを主とした交流を行う。お絵かきコーナーや、新聞シャワーコーナー、ダンボールハウスコーナー、伝承遊びコーナー、身長・体重測定コーナーなど、幅広い子育て世帯が楽しめるよう多くのコーナーを設置した。

昨年と同様に、授乳室、おむつ替えスペースなども充実させ、来場者が快適に過ごすことができるように配慮している。多くの来場者が訪れ、和やかな交流の場を持つことができた。



主 催	就実大学・就実短期大学		
行 事 名	潜在保育士復職支援研修及び卒後リカレント教育		
講 師	幼児教育学科全職員		
日 付	2019年 8月17日～9月14日	場 所	本 学
対 象 者	地域の人たち	参加人数	延べ48名

概要

2019年度潜在保育士復職支援及び卒後リカレント教育研修会一覧

日程	講義内容(10時～12時)	受講者	講義内容(13時～15時)	受講者
8/17(土)	①相談援助(土田※)	9名	②図画工作(柴川)	7名
8/28(水)	③保育者論(小谷)	8名	④声楽(ズビャーギナ)	7名
9/7(土)	⑤特別支援(鎌田)	9名	⑥情報交換会(澤津)	5名
9/11(水)	⑦就実こども園での体験実習(9～16時)			2名
9/14(土)	⑧就実こども園での体験実習(9～16時)			1名

※都合により、村田先生(就実大学教育学部初等教育学科)に変更した。

*2カ年(本年と次年)で1サイクル(全科目)になるよう実施予定。

昨年度に続き、潜在保育士復職支援の研修会を以下の日程で実施した。本研修会は、リカレント教育研修会も兼ねており、受講者の中には現職の保育者も参加している。研修会内容及び受講者数は上記に示す通りである。

受講者の年齢層は、40代(31.3%)、50代(50.0%)が過半数であった(図2)。2015年からは、卒後リカレント教育の場としても研修会を実施しているが、受講者の43.8%が現職者であった(図3)。受講のきっかけは、ホームページが26.9%、自治体窓口が19.2%、その他が19.2%であった(図4)。満足度をみると、95.6%が満足している、4.1%がやや満足しているという回答であり(図5)、不満であるという回答は見られなかったことから、研修内容については概ね受講者の期待に沿う内容であったと考えられる。

実施の結果、以下の3点が課題として考えられる。

- 1点目として、昨年度に引き続き本研修会を必要としている人への情報の周知及び案内方法である。
- 2点目として、今後も実現場に即した研修内容の充実を試みる必要がある。
- 3点目にリカレント教育と、潜在保育士復職支援の融合である。

保育現場の人で不足は今なお深刻であり、潜在保育士の復職への受容は今後ますます高まっていくものと考えられる。さらに2019年10月から始まった、保育料の無償化制度による今後の影響は未知数である。活力ある保育現場を下支えするためにも、本活動を今後も継続していきたいと考えている。

出 前 授 業

所 属 (学部・学科)	人文科学部 表現文化学科		
タ イ ト ル	『枕草子』 「春はあけぼの」 の表現		
講 師	瓦井 裕子		
日 付	2019年10月4日	場 所	高松北高等学校
対 象 者	高校2年生	参 加 人 数	22名
<p>(概 要) 『枕草子』の初段「春はあけぼの」は、四季それぞれの美しい風景が描出される章段である。この風景が、どのような背景から選びだされ、どのようなことばによって表現されているか、という問題を取り上げて、大学で行う古典文学研究の一端を紹介した。</p>			

所 属 (学部・学科)	人文科学部・実践英語学科		
タ イ ト ル	通訳の世界へようこそ		
講 師	武部 好子		
日 付	2019年12月5日	場 所	愛媛県立西条高等学校
対 象 者	高等学校2年生	参 加 人 数	32名
<p>(概 要) 通訳の種類や訓練方法を紹介し、聴覚教材も使用しながら大学で行っている授業の一部を体験して頂いた。生徒達は活発に反応し積極的に声を出して練習し、最後には皆の前で数名がプレゼンテーションを円滑に行ってくださった。</p>			

所 属 (学部・学科)	経営学部・経営学科		
タ イ ト ル	企業の究極的な目的とは何か		
講 師	大塚 祐一		
日 付	2019年7月9日	場 所	岡山県立林野高等学校
対 象 者	高校1年生～3年生	参 加 人 数	61名
<p>(概 要) 本講義では、経営学の主役である企業の目的・使命・あるべき姿について、受講生とともに議論をおこなった。企業にとって利益は重要であるが、利益の追求それ自体を目的化してしまうことの問題点などを整理しながら、社会における企業の役割や存在意義について理解を深めた。</p>			

所 属（学部・学科）	薬学部 薬学科		
タ イ ト ル	薬の最新事情		
講 師	西村 多美子		
日 付	2020年2月15日	場 所	笠岡市民公民館
対 象 者	笠岡市民	参 加 人 数	38名
（概 要）笠岡市市民大学講座として、薬の最新事情について講義した。			

所 属（学部・学科）	薬学部・薬学科		
タ イ ト ル	薬剤師さんになってみよう！		
講 師	田坂 祐一		
日 付	2019年8月23日	場 所	就実大学 薬学部
対 象 者	小学4～6年生 女子	参 加 人 数	16名
（概 要）さんかく岡山主催事業 コドモさんかくゼミの未来のリケジョ応援プロジェクト「もっともっと理科が好きになる実験教室」の講師を担当した。当日は聴診器を用いたフィジカルアセスメント体験を実施し、からだの仕組みと薬剤師の役割について学ぶ機会を提供した。			

所 属（学部・学科）	幼児教育学科		
タ イ ト ル	『先生』と呼ばれる人になる ～これからの時代に求められる教師・保育士～		
講 師	小谷 彰吾		
日 付	2019年9月25日	場 所	岡山県立勝山高等学校
対 象 者	勝山高校2年生	参 加 人 数	30名
（概 要）現代の子どもたちの位相を明らかにし、新しい時代に向けて求められる教育、教師とはどのようなものかを考え、自覚と責任を持って自らの夢に向かおうとするきっかけになるような講話を展開する。「めざす」縦の力と、「つながる」横の力が不可欠となる。			

学外組織との連携・協働

主 催	DANCE ALIVE 実行委員会 助成：(公財) 福武教育文化振興財団、岡山県立大学地域貢献特別研究費 後援：岡山市教育委員会・倉敷市教育委員会、総社市教育委員会・岡山県立大学		
タ イ ト ル	DANCE ALIVE 2019		
実 施 者	新山順子(岡山県立大学)、岡本悦子他		
日 付	2019年11月17日	場 所	倉敷公民館
対 象 者	一般	参 加 人 数	出演者 20 名観客数 200 名
概要(本文・写真・図等)			
<p>DANCE ALIVE 企画は、2016年に「踊ることと生きることが等価である人たちの多様な創作表現の形」の創出を支援したい、そのことによって「新しいコンテンポラリーダンスに出会う場所」を岡山という地域に増やしていきたいという願いをコンセプトに、岡山県立大学新山順子を中心に就実大学岡本悦子、畝木真由美(当時安田女子大学勤務。現在は、若林真由美、岡山ダンス・ラボ所属)を実行委員として立ち上げた企画である。</p> <p>活動開始から4年目を迎えた現在では、実行委員に(株)クロス・デザイナー黒川しのぶ、公務員原田歩(倉敷市)、矢鳴孝一郎(真庭市)、土屋望(浅口市)を加えて、岡山県内大学に限らず、県外大学出身者を含めて、大学時に創作表現としてのダンスに出会った卒業生たちの発表活動を支援している。彼らの創作作品に見られるオリジナリティの発芽を潰さずに、どのように社会に開いていけるか、また、現代芸術の普及のみならず、彼らの創作活動がどのような形で社会に貢献できるかについて具体的展開を考案し実現していくことがこの組織の課題であると認識している。</p> <p>2019年度は、公演前に一般に開いたWSの開催や公演プログラムに「トーク&インプロ・ワーク」などその場で作り上げるシーンを挿入するなど、創作の現場の開示を通して、現代舞踊が一般に認知されるための取り組みを行った。</p>			

主 催	岡山県現代舞踊連盟、岡山県、(公社)岡山県文化連盟、おokayama県民文化祭実行委員会		
タ イ ト ル	第17回おokayama県民文化祭 「君たちのみらいへ！プログラム」 「現代舞踊 まなびの発表会 vol.1」		
実 施 者	ゲスト講師 (CIco、多田慶子) 他岡山県現代舞踊連盟会員		
日 付	2019年11月23日	場 所	就実大学
対 象 者	現代舞踊創作者&ダンサー	参加人数	50名
概要 (本文・写真・図等)			
<p>第17回おokayama県民文化祭 君たちのみらいへ！プログラム かつ beyond2020 企画として、岡山県現代舞踊連盟 (会長間野和美、顧問岡本悦子) では、「現代舞踊 まなびの発表会 vol.1」を企画した。</p> <p>2012年度以来、小学校に引き続き中学にもダンスが必修化されたものの、マスコミを通して特定のリズム系ダンスへの注目に偏っている傾向が否めない。動きの型の習得やチームワークによる相互協力、型の修得への真摯な努力自体はもちろん有意義である。しかし、本来、表現とは一つの型のみを集約されて、その型の出来不出来を競うものではない。よって表現の自由という観点からみれば、習得自体が目標になることには疑問も残る。特に学校教育現場においては創造的表現の指導は難しいと避けられがちな現状がある。</p> <p>地域の現代舞踊の現場では、地域のリズムダンス系の稽古場との住み分けがなされており、創造的表現についての理解は進んでいるものの、全国的視野に立ってみれば表現の幅が十分広いとは言えない。よって、指導者にとっても学ぶ者にとっても、より多様かつ高次の表現に出会い、学び続ける機会を得ることが重要である。全国的・世界的に活動する優秀なゲストアーティストを講師として招き、「動きにどのような解釈が可能か」「どのような発展性があるのか」についてダンサー・振付家・指導者が直接学べる企画を試みた。</p>			

主 催	人文科学部 実践英語学科		
タ イ ト ル	林原美術館との連携協定に基づく英語翻訳の取り組み		
実 施 者	浅利尚民（表現文化学科）・武部好子（実践英語学科）		
日 付	2019年12月16日	場 所	R301
対 象 者	林原美術館	参 加 人 数	20名

概要（本文・写真・図等）

本学人文科学部と一般財団法人林原美術館（谷一尚館長）との連携協定に基づき、『林原美術館名品選』解説文の英語への翻訳作業および解説会を行いました。

現在、『林原美術館名品選』掲載の解説文について、人文科学部実践英語学科武部好子准教授の指導のもと後期授業「翻訳演習2」の課題として、実践英語学科17名の受講生が協力しながら、日本語から英語への翻訳を進めています。

この林原美術館との連携協定に基づく英語翻訳の取り組みの一環として、2019年12月16日（月）「翻訳演習2」のクラスに林原美術館の橋本龍主任学芸員をお招きし『林原美術館名品選』解説文の英語への翻訳作業に取り組む受講生に対して、作品解説を丁寧に行って頂き、受講生からの活発な質問に分かりやすくご回答頂きました。大学で行う自分達の翻訳が実社会で展示される可能性がある点は、受講生の学習意欲や地域貢献意欲を高めています。

ご協力くださった林原美術館の橋本龍主任学芸員、表現文化学科の浅利尚民准教授、実践英語学科の受講生の皆様に感謝致します。



主 催	岡山市立御津公民館		
タ イ ト ル	相互連携協定にもとづく「多文化カフェ」への学生参加		
実 施 者	岡山市立御津公民館・就実大学社会教育主事課程（担当：中塚朋子）		
日 付	2019年11月24日	場 所	岡山市立御津公民館
対 象 者	外国人を含む地域住民	参 加 人 数	教員1名 学生14名 職員・地域住民22名

概要（本文・写真・図等）

2019年度、就実大学人文科学部は、岡山市立御津公民館と相互連携協定を結びました。本協定にもとづき、(1)地域の活性化に関すること、(2)公民館が所蔵する資料の整理・研究・展示ならびに社会教育活動の発展に関すること、(3)学生の実習やボランティアの受け入れなど人材育成に関することなど、相互に連携し、必要な支援と協力を行うことが取り決められました。本年度は、相互連携協定を契機として、社会教育主事課程における社会教育実習の実習生1名（総合歴史学科4年）を受け入れていただきました。実習期間中は、実習生による自主企画として、地域住民の方々に御津地域の史跡や魅力ある場所をたずね語り合う「御津座談会」が開催されました。

また、社会教育主事課程の授業の一環として、2019年11月24日（日）に御津公民館で開催された「多文化カフェ」に参加しました。御津地域は、公営の工業団地が立地し、そこで働く多くの外国人労働者の方々が生活しています。多文化カフェは、御津地域に暮らす外国人同志の仲間づくりや地域住民間の交流を目的として毎月1回開催されています。日本語教室の講座のあとに、地域住民が昼食をともにしながら、会話をしたり、文化を学びあう機会となっています。

参加した多文化カフェでは、本学の学生たちが主体となって、軽食のメニュー（おでん・混ぜご飯・白玉きなこだんご）を考え、買い出しや調理を行い、昼食づくりを行いました。その後、会話をしながら外国人を含む地域住民の方々と食事を一緒に楽しみました。ベトナム出身の方がおでんの具である卵の味に驚き、どうやってつくるのかと学生たちに質問する場面もありました。また、大学で何を学び、将来どういう職業につきたいのかという話をしている学生もいました。

後半は、わかりやすい言葉やからだを使ったゲームなど、遊びを通じた交流を行いました。フルーツバスケットや連想ゲームなど、学生たちはグループごとに事前に企画・準備しました。言葉がうまく伝わりにくい場面などは、その方法を変更するなど、互いにサポートしたり臨機応変に進行する姿がみられました。学生たちは、多文化共生という地域で取り組む課題を具体的な活動の経験を通して学ぶ機会になったようです。

上記の活動を本年度は試行的に実施しましたが、来年度も相互のニーズにあわせて、より発展的な活動を展開できるよう授業内容を工夫していきたいと思えます。



https://www.shujitsu.ac.jp/sogorekisi_site/news/detail/2324

主 催	岡山市男女共同参画社会推進センター（さんかく岡山）		
タ イ ト ル	コドモさんかくゼミ FOR GIRLS 「未来のリケジョ応援プロジェクト」		
実 施 者	就実大学薬学部薬学科		
日 付	2019年8月19日 8月21日 8月23日	場 所	就実大学薬学部
対 象 者	岡山市内女子小学生（4～6年生）	参加人数	38名
概要（本文・写真・図等）			
<p>さんかく岡山が主催する「未来のリケジョ応援プロジェクト」は女子児童の理工系分野への興味、関心を喚起し、将来において、理工系の選択がしやすくなるよう支援する取り組みである。岡山市内の4～6年の女子小学生を対象としている。毎年夏休みに3回、本学薬学部実習室を開放して、薬学部教員が講師となり様々な実験を体験してもらっている。今年度は佐々木講師による「漢方薬を作ってみよう」、山川准教授による「氷点下の世界を体験しよう」、田坂講師による「薬剤師さんになってみよう」を38名の女子児童が体験した。「将来の夢について考えられてよかったです。」「薬剤師は、こんな仕事をしているんだと思ってびっくりしました。」などの感想があった。</p>			

主 催	SCO 同好会、おかやまキッズタウン実行委員会		
タ イ ト ル	キッズタウン SHUJITSU2019		
実 施 者	就実短期大学 生活実践科学科 小田奈緒美		
日 付	2019年8月21～22日	場 所	就実大学T館1～6階
対 象 者	5歳～小学6年生	参加人数	両日で約600名

概要（本文・写真・図等）

若年層への体験型消費者教育イベントとして「キッズタウン SHUJITSU2019」を開催した。

一昨年の京山公民館では1日で約80名の参加があり、昨年には本学の学生が同好会を設立し、企画・運営を担いつつ、就実大学にて2日間開催し、約400名の参加があった。3回目の今年度は、就実大学で2度目の開催であり、2日間で約600名の参加があった。

事前の子ども会議を6月8日（土）、7月6日（土）の2回開催し、6月8日には子ども市長選挙を実施したのちに販売商品の投票を行った。市長選挙には27名の立候補者があり、選挙管理委員会の方のご協力により本物の投票箱に投票した結果、こども市長1名と副市長2名、議員13名の計16名が選ばれた。7月6日には、6月の第1回子ども会議で選ばれた商品づくりや、市議会の報告がなされた。それぞれ200名前後の参加があった。

事前申し込みは700名近くあり、当日は各日300名程の子どもたちが参加した。また、子どもたちをフォローするボランティアは就実大学・短期大学のSCO同好会に加え、竜操中学校、岡山工業高等学校、岡山南高等学校、就実高等学校、明誠学院高等学校、就実大学、就実短期大学から140名程の参加があった。

8月21日は、10時に子ども市長による開会式が行われ、中区長から子ども市長への任命式も行われた。今年の市民総会で決まったキッズタウンの遊び方は、まず子どもたちが市民登録をすると市民証とお祝い金の100ピーチをもらうことができる。次に、まちでの遊び方についてオリエンテーションを受けたらハローワークに行き、選んだお仕事をしする。仕事がない時は子ども大学で勉強をしたり、遊んだり、買い物をしたりできる。働くか勉強をすると銀行でお給料をもらえ(30分で100ピーチ、子ども大学は30分で200ピーチ)、税務署で税金を納める(20ピーチ、子ども大学は40ピーチ)と次の仕事ができる。残ったお金は自由に使うことができる。まちは15時には終了し、その後振り返りの子ども会議では、売上人数やお店選挙の投票結果を発表するとともに、参加者は感想を発表しあつた。

子どもたちは、税金や社会のしくみについて、楽しみながら学ぶことができたようであり、アンケートでは次回も開催を求める声が多くみられ、保護者からは90%実施を望む結果であった。



主 催	SCO 同好会、浦安小学校 PTA		
タ イ ト ル	キッズタウン URAYASU2019		
実 施 者	就実短期大学 生活実践科学科 小田奈緒美		
日 付	2019年12月8日	場 所	浦安小学校 1～3階
対 象 者	小学1年生～小学6年生	参加人数	約65名

概要（本文・写真・図等）

若年層への体験型消費者教育イベントとして「キッズタウン URAYASU2019」を開催した。

昨年は、浦安小学校では初開催であったが、113名の参加があった。今年度は2回目であり、企画・運営をSCOおよびPTA会員が分担して行い、浦安小学校にて開催し、約65名の参加があった。

事前の子ども会議を10月12日（土）、11月23日（土）の2回開催し、10月12日には、子ども市長選挙を実施した後に販売商品の投票を行った。市長選挙には3名の立候補者があり、選挙管理委員会の方のご協力により本物の投票箱に投票した結果、こども市長1名と議員2名が選ばれた。また、販売商品は森の店ではみずぶえとぶんぶんごま、おもちゃ屋ではロケットとオーロラボックスが選ばれ、レストランメニューでは主食がカレーライスと焼きそば、デザートにフルーツポンチが選ばれた。11月23日には、10月の第1回子ども会議で選ばれた商品づくりや、市議会の報告がなされた。それぞれ30～50名の参加があった。

また、子どもたちをフォローするボランティアはSCO同好会とPTA会員に加え、岡山市立芳泉中学校から17名の参加があった。

12月8日は、10時に子ども市長による開会式が行われた。今年の市民総会で決まったキッズタウンの遊び方は、まず子どもたちが市民登録をすると市民証とお祝い金の100たろうをもらうことができる。次に、まちでの遊び方についてオリエンテーションを受けたらハローワークに行き、選んだお仕事をやる。仕事がない時は子ども大学で勉強をしたり、遊んだり、買い物をしたりできる。働くか勉強をすると銀行でお給料をもらえ（30分で100たろう、子ども大学は30分で200たろう）、税務署で税金を納める（20たろう、子ども大学は40たろう）と、次の仕事ができる。残ったお金は自由に使うことができる。まちは14時には終了し、その後、振り返りの子ども会議では、売上人数やお店選挙の投票結果を発表するとともに、参加者は感想を発表しあった。

子どもたちは、税金や社会のしくみについて、楽しみながら学ぶことができたようであった。



主 催	児童文化部		
タ イ ト ル	2019年児童文化部活動記録		
実 施 者	児童文化部		
日 付	2019年4月～2020年3月	場 所	
対 象 者		参 加 人 数	
概要（本文・写真・図等）			
2019年児童文化部活動記録（2019年4月～2020年3月） ※2019年12月26日現在			
日付	場所	内容	
2019年4月	13日	浜川児童館	幼時から小学生向けの簡単なゲームや身体遊び
		旭川荘	ポッチャ（ボール遊び）
	27日	旭川荘	センター子ども祭り
2019年5月	5日	岡山ふれあいセンター	子どもフェスティバル補助
	11日	浜川児童館	工作や手遊び、パネルシアターなど手伝い
	12日	北ふれあいセンター	ウォーキング大会補助
	25日	岡山総合グラウンド	子ども祭り（工作、簡単なゲーム）
2019年6月	2日	西ふれあいセンター	バザーやワークショップ手伝い
	8日	旭川荘	ポッチャ（ボール遊び）
	9日	男女共同参画社会推進センター	オペレッタ（劇）
	15日	浜川児童館	工作や手遊び、パネルシアターなど手伝い
	23日	緑道公園近く 幸町図書館	新聞コーナー、魚釣りゲーム 手遊び、絵本の読み聞かせ
2019年7月	7日	北ふれあいセンター	北ふれあい祭りの工作コーナー、ゲームコーナー
	13日	浜川児童館 富原児童館	幼時から小学生向けの簡単なゲームや身体遊び ゲームコーナーや工作のお手伝い
	14日	幸町図書館	手遊び、絵本の読み聞かせ
	21日	西大寺ふれあいセンター	センター祭りの補助
	25日	旭川荘	夏祭り、利用者の介助
2019年8月	9日	玉野児童館	手遊び、オペレッタ補助
2019年9月	14日	旭川荘	ポッチャ（ボール遊び）
	29日	ウェルポート灘崎	コーナーでの工作
2019年10月	26日	岡山ふれあいセンター	子ども祭りのブース手伝い
	27日	岡山ふれあいセンター	子ども祭りのブース手伝い
	26日27日	学園祭	焼きそばやCPL、アンパンマンの上映
2019年11月	2日	旭川荘	車椅子補助
	3日	岡山ドーム	ブースのお手伝い
	9日	旭川荘	ポッチャ（ボール遊び）
	10日	旭川荘	Tボール大会の準備、運営、アナウンス
	16日	浜川児童館	幼時から小学生向けの簡単なゲームや身体遊び
	17日	西ふれあいセンター	機材運搬、館内外掃除、ブース補助、屋台
	23日	南ふれあいセンター	機材運搬、館内外掃除、ブース補助、屋台
	24日	西大寺ふれあいセンター 幸町図書館	参加者とコースを歩く 手遊び、絵本の読み聞かせ
2019年12月	7日	浜川児童館	幼時から小学生向けの簡単なゲームや身体遊び
	15日	北ふれあいセンター	工作の手伝い、子供の補助
2020年1月	5日	北ふれあいセンター	お正月コーナー、ゲームコーナーの補助
	11日	浜川児童館 岡山ふれあいセンター	新年お楽しみ会のゲーム進行 お正月遊びの補助
	12日	西ふれあいセンター	イベント補助

主 催	就実大学天文部・人と科学の未来館サイピア		
タ イ ト ル	中秋の名月観望会、月面 X 観望会		
実 施 者	就実大学天文部・人と科学の未来館サイピア		
日 付	2019年9月13日、2019年12月4日	場 所	イオンモール岡山 5階 ハレマチガーデン
対 象 者	一般	参加人数	100-120名

概要（本文・写真・図等）

- 2019年9月13日19時45分から20時45分まで、イオンモール岡山5階ハレマチガーデンにて、就実大学天文部・人と科学の未来館サイピア共催で中秋の名月観望会を開催した。天体望遠鏡6台を天文部とサイピアが持参してハレマチガーデンに並べ、中秋の名月を見る観望会を開催した。多くの中高生、親子連れが天体望遠鏡に行列を作って、天文部の学生やサイピアの職員から説明を聞きながらきれいな月を観望した。天体望遠鏡で見ると、肉眼では見えない月面のクレーターなどが細かく見えるので、特に子供達は大喜びで見入っていた。参加者約120名。
- 2019年12月4日17時半から19時まで、イオンモール岡山5階ハレマチガーデンにて、就実大学天文部・人と科学の未来館サイピア共催で月面 X 観望会を開催した。この観望会は2017年から続けているもので、2019年1月11日には山陽新聞にも取り上げられた。月面 X はクレーターに囲まれた稜線が半月の際に太陽光で光って X の文字に見えるもので、好機は年に数回しかないため、今回の月面 X 観望会にもリピーターを含めて多くの参加者があった。ハレマチガーデンに並べた天体望遠鏡をのぞいて、月面に光る X を見つけると歓声が上がっていた。参加者約100名。



各種学外委員会の応嘱

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	教 授	氏 名	川 崎 剛 志
内 容	①日本山岳修験学会 理事 ②国文学研究資料館 地域資料専門部会委員 ③神戸女子大学古典芸能研究センター 客員研究員				
期 間	①2011年10月1日～（評議員）、2013年10月1日～現在（理事） ②2018年4月1日～現在 ③2015年4月1日～現在				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	教 授	氏 名	岡 本 悦 子
内 容	① 岡山県女子体育連盟会長 ② 岡山県現代舞踊連盟顧問 ③ 子どもの社会参加を考える会in京山（通称チューリップの会）副会長 ④ 中国電力会社岡山営業所アドバイザー				
期 間	① 2012年4月1日～2020年現在 ② 2002年～理事、2005年～副会長、2009年～2011年会長、2012年～顧問 ③ 2008年～2020年現在 ④ 2010年4月1日～2020年現在				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	准教授	氏 名	浅 利 尚 民
内 容	①閑谷学校研究委員会委員 ②弘法寺脚供養総合調査委員会現地調査員 ③尾道市史編集委員会文化財専門部会執筆者				
期 間	①2009年4月1日～現在 ②2017年12月～現在 ③2018年4月1日～現在				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	講 師	氏 名	瓦 井 裕 子
内 容	①和歌文学会委員				
期 間	①2018年11～2020年10月				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	講 師	氏 名	丸 井 貴 史
内 容	①国文学研究資料館地域資料専門部会委員				
期 間	①2018年4月1日～現在				

所 属	人文科学部 実践英語学科	職 位	教 授	氏 名	小 山 敬 一
内 容	①第12回岡山城東高校杯中学生英語スピーチコンテスト審査員 ②地域との協働による高等学校教育改革事業【グローバル型】（対象校：岡山城東高校）助言者				
期 間	①2019年11月9日 ②2019年9月1日～2020年3月31日				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	丹 生 裕 一
内 容	①笠岡市金浦中学校学校運営協議会委員 ②笠岡市教育委員会評価委員				
期 間	①2019年4月1日～2020年3月31日 ②2019年4月1日～2020年3月31日				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	岡 田 信 吾
内 容	①倉敷市特別支援教育専門家スタッフ ②岡山県特別支援教育専門家チーム				
期 間	①2019年4月1日～2020年3月31日 ②2019年4月1日～2020年3月31日				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	楠 博 文
内 容	①兵庫教育大学岡山会 理事 ②岡山県小学校教育研究会岡山支会算数部会 顧問 ③新興出版社啓林館 教科書協力著者				
期 間	①2013年4月1日～現在 ②2016年4月1日～現在 ③2018年4月1日～2020年9月30日				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教 授	氏 名	石 原 みちる
内 容	①岡山市学校問題解決サポート事業 専門相談員 ②岡山県教育委員会スクールカウンセラー配置事業 スーパーバイザー ③瀬戸内市子ども包括支援推進協議会委員				
期 間	①2019年4月1日～2020年3月31日 ②2019年4月1日～2020年3月31日 ③2019年4月1日～2020年3月31日				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	講 師	氏 名	森 村 和 浩
内 容	①「運動」を通じた鍛ほめプロジェクト推進委員(福岡県教育委員会) ②「運動」を通じた鍛ほめプロジェクトリサーチメンバー ③ 日本体力医学会評議委員				
期 間	①2017年5月 ～現在 ②2017年5月 ～現在 ③2019年10月 ～現在				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	野 本 明 成
内 容	① 岡山市公の施設の指定管理候補者選定委員会委員				
期 間	① 2019年6月17日～2021年6月16日				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	准教授	氏 名	加賀美 太 記
内 容	①くらしと協同の研究所 研究委員・『くらしと協同』編集委員 ②くらしと協同の研究所 理事・運営委員				
期 間	①2014年6月1日～現在 ②2014年6月1日～現在				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	古 塚 秀 夫
内 容	①中国地域ニュービジネス大賞表彰制度にかかる審査会委員 ②農業簿記利用優良経営表彰事業 審査委員				
期 間	①2019年5月1日～2021年4月30日 ②承認日から2020年3月31日				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	林 俊 克
内 容	① 2018年度スーパーグローバルハイスクール運営指導委員 ② 岡山市経済政策審議会委員				
期 間	① 2019年4月2日～2020年3月31日 ② 2018年11月15日～2020年11月14日				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	講 師	氏 名	小 柳 智 裕
内 容	① 方谷研究会 理事 ② 方谷研究会 企画委員会 副委員長 ③ 方谷研究会 調査・研究委員会委員 ④ 日本インテリア学会 アーカイブ化委員会委員				
期 間	① 2012年6月30日～現在 ② 2015年10月17日～現在 ③ 2017年10月15日～現在 ④ 2018年7月～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	塩 田 澄 子
内 容	① 岡山市男女共同参画推進センター（さんかく岡山）運営委員会委員 ② 岡山市社会福祉審議会委員 ③ 岡山市文化財保護審議会委員 ④ 岡山市依存・嗜癖関連問題対策審議委員 ⑤ 岡山市薬剤師会常任理事 ⑥ 岡山市薬剤師会オープンフォーラム委員会委員 ⑦ 日本細菌学会中国四国支部会評議員 ⑧ 日本薬学会中国四国支部代議員 ⑨ 日本薬学会全国学生ワークショップ実行委員 ⑩ 薬学教育協議会 微生物学教科担当教員会議世話人 ⑪ 文科学省薬学関連専門委員 ⑫ 文部科学省薬学教育指導者のためのワークショップ協力者 ⑬ ダイバーシティ推進実行委員会おかやま主催エール論文審査委員会委員				
期 間	① 2010年4月1日～2020年3月31日（4期目） ② 2017年4月1日～現在 ③ 2019年4月1日～現在 ④ 2019年4月1日～現在 ⑤ 2015年4月1日～現在 ⑥ 2007年4月1日～現在 ⑦ 2004年4月1日～現在 ⑧ 2015年4月1日～現在 ⑨ 2011年4月1日～現在 ⑩ 2016年4月1日～現在 ⑪ 2017年11月～2020年10月 ⑫ 2019年6月～2020年3月31日 ⑬ 2019年9月20日～2020年3月31日				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	洲 崎 悦 子
内 容	①津山洋学資料館 協議会委員				
期 間	①2010年4月1日～2020年3月31日(予定任期)				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	柴 田 隆 司
内 容	① 岡山県薬剤師研修協議会 委員 ② 日本社会薬学会関西支部 理事				
期 間	① 2018年4月1日～2020年3月31日 ② 2018年4月1日～2020年3月31日				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	片 岡 洋 行
内 容	① 薬学教育協議会分析化学系教科検討委員会委員 ② Analytica Chimica Acta: Editorial Advisory Board member (Elsevier) ③ Analytical Chemistry Letters: Editorial Board (Vinayak-Graphics) ④ Journal of Environmental & Analytical Toxicology: Editorial Board Member (OMICS) ⑤ 日本分析化学会中国四国支部幹事 ⑥ おかやまバイオアクティブ研究会幹事 ⑦ Analytical Methods in Chemistry Editorial Board Member (Hindawi) ⑧ Editorial Board Member of Chromatography (Japan) ⑨ クロマトグラフィー科学会評議員 ⑩ 薬学教育評価機構評価実施委員 ⑪ Editorial Board Member of Journal of Translational Biomarkers & Diagnosis (SciDoc Publishers) ⑫ Editorial Board Member of Journal of Bioanalytical Techniques (Sciforschen) ⑬ 大学コンソーシアム岡山 代表者会議 ⑭ 日本私立短期大学協会中四国支部評議員 ⑮ 日本私立大学協会評議員・中四国支部評議員 ⑯ 国際化を進める岡山中央協議会理事 ⑰ 日本医師会認定医療秘書養成運営委員会副委員長 ⑱ 岡山県薬事審議会委員部会長 ⑲ 岡山県私立短期大学協会会長 ⑳ Editorial Board Member of Journal of Biochemistry and Analytical Studies (Sciforschen) ㉑ 日本私立短期大学協会常任理事・中四国支部副会長 ㉒ Editorial Advisory Board Member of Journal of Chromatography A (Elsevier) ㉓ 岡山県後発医薬品の安心使用のための協議会会長 ㉔ Editorial Board Member of Molecules (MDPI)				

	㉕ 第26回クロマトグラフィーシンポジウム開催 (実行委員長) ㉖ Associate Editor of Frontiers in Environmental Chemistry (Frontiers)
期 間	① 2003年4月1日～現在 ② 2009年1月1日～現在 ③ 2011年1月1日～現在 ④ 2011年4月1日～現在 ⑤ 2011年4月1日～現在 ⑥ 2011年4月1日～現在 ⑦ 2011年11月1日～現在 ⑧ 2012年4月1日～現在 ⑨ 2012年4月1日～現在 ⑩ 2014年4月1日～現在 ⑪ 2015年10月1日～現在 ⑫ 2015年10月1日～現在 ⑬ 2015年4月1日～現在 ⑭ 2015年4月1日～現在 ⑮ 2015年4月1日～現在 ⑯ 2015年4月1日～現在 ⑰ 2015年4月1日～現在 ⑱ 2015年4月1日～現在 ⑲ 2018年4月1日～現在 ⑳ 2017年1月1日～現在 ㉑ 2018年4月1日～現在 ㉒ 2018年5月1日～現在 ㉓ 2018年10月1日～現在 ㉔ 2018年11月1日～現在 ㉕ 2019年6月5日～2019年6月7日 ㉖ 2020年1月1日～現在

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	西 村 多美子
内 容	①日本薬理学会 学術評議員 ②私立薬科大学協会学生部長会委員 ③薬学教育評価機構 評価実施員 ④一般社団法人 薬学教育協議会 令和元年度 レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議 委員長				
期 間	①1987年より現在 ②2017年4月より現在 ③2015年4月より現在 ④2019年度				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	中 西 徹
内 容	1. 岡山県環境放射線等測定技術委員会委員 2. (社)日本アイソトープ協会本部企画委員 3. NPO ヘルスサイエンス地域国際センター理事 4. Pasteur Foundation Japan (日本パスツール財団) 企画広報担当 5. 日本軟骨代謝学会評議員 6. 日本生化学会評議員 7. 硬組織再生生物学会理事 8. 日本食品衛生学会理事 (中国四国ブロック担当) 9. おかやまバイオアクティブ研究会役員・企画委員 10. Editorial Board of ISRN (International Scholarly Research Network) Biochemistry 11. 主体的学び研究所客員フェロー 12. ASEAN-JAPAN ゲノム医療研究推進国際会議 代表				
期 間	1. 2010年 4月 1日～現在 2. 2014年 4月 1日～現在 3. 2012年 4月 1日～現在 4. 2003年 4月 1日～現在 5. 1999年 3月 1日～現在 6. 2005年10月 1日～現在 7. 2004年10月 1日～現在 8. 2013年 3月 1日～現在 9. 2013年10月11日～現在 10. 2012年 5月 1日～現在 11. 2012年 4月 1日～現在 12. 2017年 7月 9日～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	渡 辺 雅 彦
内 容	①日本気象予報士会岡山支部長 ②日本環境変異原学会評議員 ③日本環境変異原学会第一編集委員				
期 間	①2007年3月31日～2019年5月18日 ②2016年1月1日～現在 ③2016年1月1日～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	工 藤 季 之
内 容	① 公益社団法人日本技術士会生物工学部会中国地区幹事 ② 公益社団法人日本技術士会中国本部修習技術者支援委員会委員 ③ 公益社団法人日本技術士会中国本部企画総務委員会Skype会議普及小委員会委員 ④ 公益社団法人日本技術士会中国本部環境部会副部長 ⑤ 公益社団法人日本技術士会中国本部岡山県支部幹事 ⑥ 公益社団法人日本技術士会中国本部岡山県支部修習技術者支援委員会委員長 ⑦ 岡山実験動物研究会理事				
期 間	①2007年4月1日～2021年6月30日 ②2009年1月1日～2021年6月30日 ③2011年6月23日～2019年6月30日 ④2011年6月23日～2021年6月30日 ⑤2013年7月13日～2021年6月30日 ⑥2013年7月20日～2021年6月30日 ⑦2015年4月1日～2021年3月31日				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	島 田 憲 一
内 容	①岡山県薬剤師会薬局委員会委員 ②岡山市介護認定審査会委員 ③内閣府食品安全委員会食品安全モニター ④岡山県病院薬剤師会実習委員会オブザーバー委員 ⑤薬学教育協議会 病院薬局実務実習中国・四国支部 支部委員 ⑥薬学教育協議会 病院薬局実務実習近畿支部 オブザーバー委員 ⑦岡山県薬剤師会実務実習特別委員会オブザーバー委員 ⑧健康食品管理士会中国支部幹事				
期 間	①2008年4月1日～現在 ②2013年4月1日～現在 ③2015年4月1日～現在 ④2016年4月1日～現在 ⑤2017年4月1日～現在 ⑥2017年4月1日～現在 ⑦2019年4月1日～現在 ⑧2019年10月1日～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	講 師	氏 名	加 地 弘 明
内 容	①岡山県薬剤師会 理事 ②岡山県薬剤師会 地域包括ケア対策委員会 委員 ③岡山県薬剤師会 学術委員会 担当理事 ④岡山県薬剤師会 薬局実習委員会 委員				
期 間	①2017年6月～現在 ②2015年6月～現在 ③2017年6月～現在 ④2018年4月～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	講 師	氏 名	田 坂 祐 一
内 容	① 岡山県薬剤師会 おかやま薬学フォーラム実行委員会 委員 ② 岡山県薬剤師会 安全管理特別委員会 委員				
期 間	① 2018年12月20日～現在 ② 2019年7月10日～現在				

所 属	就実短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	澤 津 まり子
内 容	① 瀬戸内市次世代育成支援対策推進協議会委員				
期 間	① 2018年4月1日～2020年3月31日				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	小 谷 彰 吾
内 容	①日本特別活動学会 第29回岡山大会 実行委員長				
期 間	①2019年8月～2020年9月5日・6日				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	柴 川 敏 之
内 容	①岡山県新進美術家育成「I氏賞」推薦委員 ②広島県立美術館評価委員会 委員				
期 間	①2019年4月1日～2020年3月31日 ②2019年4月1日～2020年3月31日				

所 属	幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	鎌 田 雅 史
内 容	① 日本教育心理学会 編集委員				
期 間	① 2019年1月 より 2021年12月				

所 属	生活実践科学科	職 位	教 授	氏 名	岡 本 己 恵 子
内 容	①岡山県国民保護協議会委員				
期 間	①2019年4月1日～2020年5月11日				

所 属	生活実践科学科	職 位	教 授	氏 名	大 友 達 也
内 容	① 日本レセプト学会 理事長 ② 日本レセプト学会 学会長 ③ 一般財団法人日本能力開発推進協会 理事 ④ 岡山県医師会医療秘書運営委員				
期 間	① 2017年10月1日～現在 ② 2017年10月1日～現在 ③ 2015年4月1日～現在 ④ 2019年4月1日～現在				

所 属	就実大学薬学部附属薬局	職 位	薬剤師	氏 名	西 山 典 子
内 容	① 岡山県薬剤師会 実習委員会				
期 間	① 2019年7月10日～				

講師の派遣

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	教 授	氏 名	川 崎 剛 志
実 施 日	①2019年10月4日				
事業主催者（依頼元）	①神戸女子大学古典芸能研究センター				
タ イ ト ル	①アイドル・義経の形成を探る 第2回 義経の最期				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	教 授	氏 名	岡 本 悦 子
実 施 日	① 2019年10月20日				
事業主催者（依頼元）	① 岡山県立大学				
タ イ ト ル	① 保育専門科目「子どもの発達と表現」ゲスト講師				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	准教授	氏 名	浅 利 尚 民
実 施 日	①2019年4月11日 ②2019年4月18日 ③2019年5月31日 ④2019年10月8日 ⑤2019年11月19日 ⑥2019年12月1日 ⑦2019年12月24日 ⑧2020年1月3日 ⑨2020年2月4日 ⑩2020年3月17日				
事業主催者（依頼元）	①姫路千姫顕彰会 ②山陽新聞社 ③岡山県立玉島高等学校 ④山陽新聞社 ⑤山陽新聞社 ⑥おかやま城下町物語実行委員会（岡山市、岡山観光コンベンション協会、山陽新聞社） ⑦山陽新聞社 ⑧山陽新聞社 ⑨山陽新聞社 ⑩山陽新聞社				
タ イ ト ル	①「千姫と池田家が築いた文化遺産」 ②「山陽新聞創刊140周年記念特集 岡山県北の多彩な文化財、歴史」（新聞取材）				

	③普通科第2年課題研究（歴史・芸術・文学）への指導・助言 ④「読書三昧① 黒田日出男著『国宝神護寺三像とは何か』」（新聞取材） ⑤「読書三昧② 和田裕弘著『信長公記一戦国覇者の一級史料』」（新聞取材） ⑥岡山城不明門歴史講座「池田家伝来 能面・能装束の300年」 ⑦「読書三昧③ 澤田瞳子著『満つる月の如し 仏師・定朝』」（新聞取材） ⑧「岡山藩主池田家ゆかり 墨竹凶屏風 赤磐で発見」（新聞取材） ⑨「読書三昧④ 斉藤光政著『戦後最大の偽書事件「東日流外三郡誌」』」（新聞取材） ⑩「読書三昧⑤ 浅利尚民・内池英樹編『石谷家文書 将軍側近のみた戦国乱世』」（新聞取材）
--	--

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	講 師	氏 名	瓦 井 裕 子
実 施 日	①2019年9月21日				
事業主催者（依頼元）	①大阪大学古代中世文学研究会				
タ イ ト ル	①院生時代とキャリア形成を振り返る				

所 属	人文科学部 実践英語学科	職 位	教 授	氏 名	小 山 敬 一
実 施 日	① 2019年9月21日（土） ② 2019年9月22日（日） ③ 2019年11月20日（水）				
事業主催者（依頼元）	① 株式会社 ラーンズ ② 株式会社 ラーンズ ③ 岡山県高等学校教育研究会 英語部会				
タ イ ト ル	① 「新入試で勝つためのSpeaking/Writing指導」 ② 「新入試で勝つためのSpeaking/Writing指導」 ③ 「新テストへの対応と現状のアクティヴラーナーの育成」				

所 属	人文科学部 総合歴史学科	職 位	教 授	氏 名	櫻 田 美津夫
実 施 日	① 2019年5月17日 ② 2019年5月24日 ③ 2019年5月31日				
事業主催者（依頼元）	①～③ 大学コンソーシアム岡山／山陽新聞社 ※吉備創生カレッジ				
タ イ ト ル	① オランダ史の中の女と男（「偉大な」夫を支えた妻たち） ② " (二つの世界大戦とアレッタとアンネ) ③ " (三代続いた女王と首相たち)				

所 属	人文科学部 総合歴史学科	職 位	教 授	氏 名	苺 米 一 志
実 施 日	①2019年9月29日 ②2019年9月30日 ③2019年10月21日 ④2019年11月18日 ⑤2019年12月2日 ⑥2019年12月16日 ⑦2020年1月6日 ⑧2020年1月20日 ⑨2020年2月16日 ⑩2020年3月29日				
事業主催者（依頼元）	①まなびの広場 岡山 ②リビング岡山 ③リビング岡山 ④リビング岡山 ⑤リビング岡山 ⑥リビング岡山 ⑦リビング岡山 ⑧リビング岡山 ⑨西大寺緑花公園緑の図書室（岡山市） ⑩まなびの広場 岡山				
タ イ ト ル	①日本中世の病と医療 ②古文書に親しむ（事前体験） ③古文書に親しむ（1） ④古文書に親しむ（2） ⑤古文書に親しむ（3） ⑥古文書に親しむ（4） ⑦古文書に親しむ（5） ⑧古文書に親しむ（6）				

	⑨寺院の古文書から中世荘園を考える ⑩日本中世の女性の生涯（1）
--	-------------------------------------

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	岡 田 信 吾
実 施 日	①2019年4月26日 ②2019年7月7日 ③2019年7月12日 ④2019年7月26日 ⑤2019年9月6日				
事業主催者（依頼元）	①倉敷市教育委員会 ②岡山市教育委員会 ③吉備中央町立津賀幼稚園 ④倉敷市教育委員会 ⑤岡山県立鴨方高等学校				
タ イ ト ル	①新任特別支援教育コーディネーター研修 ②新任特別支援教育コーディネーター研修 ③気になる子どもの指導と支援 ④ケースで考えるコーディネーターの仕事 ⑤ムカッとしたときどうしよう（高校生のアンガーマネジメント）				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	楠 博 文
実 施 日	①2019年5月16日 ②2019年5月30日 ③2019年6月13日 ④2019年6月14日 ⑤2019年6月20日 ⑥2019年6月22日 ⑦2019年6月27日 ⑧2019年6月28日 ⑨2019年7月4日 ⑩2019年7月5日 ⑪2019年7月26日 ⑫2019年8月1日 ⑬2019年8月5日 ⑭2019年8月22日 ⑮2019年9月27日 ⑯2019年10月4日 ⑰2019年10月11日 ⑱2019年10月25日				

	<p>⑱2019年10月29日</p> <p>⑳2019年11月8日</p> <p>㉑2019年11月22日</p> <p>㉒2019年12月6日</p> <p>㉓2019年12月13日</p> <p>㉔2020年2月14日</p>
事業主催者（依頼元）	<p>①高梁市立玉川小学校</p> <p>②浅口市立金光竹小学校</p> <p>③高梁市立玉川小学校</p> <p>④赤磐市立城南小学校</p> <p>⑤浅口市立金光竹小学校</p> <p>⑥岡山大学算数・数学教育学会</p> <p>⑦松阪市立阿坂小学校</p> <p>⑧松阪市立阿坂小学校</p> <p>⑨浅口市立金光竹小学校</p> <p>⑩三重県桑名市立長島北部小学校</p> <p>⑪三重県桑名市教育研究所，三重県桑名市教育委員会</p> <p>⑫岡山県小学校教育研究会玉野支会算数部会</p> <p>⑬高梁市立玉川小学校</p> <p>⑭笠岡市教育研修所小学校算数研修部会</p> <p>⑮高梁市立玉川小学校</p> <p>⑯岡山県小学校教育研究会赤磐支会，吉井教育研究会</p> <p>⑰赤磐市立山陽北小学校，桜が丘中学校ブロック研修部会</p> <p>⑱岡山県小学校教育研究会浅口支会算数部会</p> <p>⑲高梁市立玉川小学校</p> <p>⑳赤磐市立城南小学校，吉井教育研究会学ぶ力づくり部会</p> <p>㉑三重県松阪市教育委員会</p> <p>㉒高梁市教育委員会，高梁市立玉川小学校</p> <p>㉓就実小学校</p> <p>㉔津山市立広戸小学校</p>
タイトル	<p>①校内研究の指導助言</p> <p>②研究授業の指導助言</p> <p>③研究授業の指導助言</p> <p>④研究授業の指導助言</p> <p>⑤研究授業の指導助言</p> <p>⑥講演「算数を楽しむ教師になろう!～発見の喜び，考える楽しさ～」</p> <p>⑦研究授業の指導助言</p> <p>⑧研究授業の指導助言</p> <p>⑨研究授業の指導助言</p> <p>⑩研究授業の指導助言</p>

	①講演「主体的・対話的で深い学びを実現する算数・数学科の授業づくり」 ②講演「数学的活動を生かした算数の授業づくり」 ③研究授業に向けた教材研究の指導助言，算数の授業づくりに関する講義 ④講演「主体的・対話的で深い学びを実現する算数の授業づくり」 ④校内研究及び研究授業の指導助言 ⑤研究授業に向けた教材研究の指導助言 ⑥研究授業の指導助言 ⑦研究授業の指導助言 ⑧講演「自ら考え，互いに伝え合い，学び合う子どもの育成」 ⑨研究授業の指導助言 ⑩研究授業の指導助言 ⑪講演「これからの教育で大切なこと」 ⑫講演「授業実践に学ぶ これからの算数科における授業づくり」 ⑬講義「主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり」 ⑭研究授業の指導助言，算数科の評価に関する講義
--	--

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	岡 綾 子
実 施 日	①2019年7月4日				
事業主催者（依頼元）	①金光学園中学・高等学校				
タ イ ト ル	①課題研究の研究テーマに関する助言				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教 授	氏 名	森 宏 樹
実 施 日	①2019年7月9日				
事業主催者（依頼元）	①高梁市立有漢西小学校				
タ イ ト ル	①薬物乱用防止教室				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教 授	氏 名	石 原 みちる
実 施 日	①2019年5月12日 ②2019年8月1日 ③2019年8月6日 ④2019年8月22日 ⑤2019年11月7日 ⑥2020年1月21日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県臨床心理士会 ②岡山県立大安寺中等教育学校				

	③岡山県教育庁 ④岡山市教育研究研修センター ⑤学校保健会笠岡支部・小田支部 ⑥瀬戸内市保健福祉部子育て支援課・健康づくり推進課
タ イ ト ル	①「臨床心理士と倫理」岡山県臨床心理士会の新入会員オリエンテーション(於：岡山済生会病院) ②悩みをもつ子ども達への理解と支援 岡山県立岡山大安寺中等教育学校教育相談研修会(於：岡山県立岡山大安寺中等教育学校) ③「学校におけるコンサルテーション」岡山県 SC・SSW 合同研修会 (於：岡山県総合教育センター) ④「不登校の子ども達への理解と支援」岡山市教育研究研修センター：不登校児童生徒への支援に関する研修講座(於：岡山ふれあいセンター) ⑤「養護教諭の支援を必要としている子どもたち-スクールカウンセラーから保健室に期待すること-」岡山県立学校保健会笠岡・小田支部 合同研修会 (於：笠岡市民会館) ⑥「発達障がい児の家族支援」発達障がい支援者研修 (於：福田保育園)

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	講 師	氏 名	堀 田 裕 司
実 施 日	①2019年7月4日				
事業主催者 (依頼元)	①日本生産性本部 (健康いきいき職場づくりフォーラム)				
タ イ ト ル	①「労働生産性の向上に寄与する健康増進手法の開発：他人を思いやる行動」				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	准教授	氏 名	加賀美 太 記
実 施 日	①2019年6月7日 ②2020年1月16日				
事業主催者 (依頼元)	①全国大学生生活協同組合連合会 ②地域と共同の研究センター				
タ イ ト ル	①協同組合の歴史と社会的使命 ②非営利組織のマーケティング				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	塩 田 澄 子
実 施 日	① 2019年8月9日～8月11日 ② 2019年9月24日 ③ 2019年10月10日 ④ 2020年2月9日				
事業主催者（依頼元）	① 日本薬学会教育委員会 ② 玉野市立東児市民センター ③ 社会福祉法人千寿福祉会 障がい者支援施設さやかなる苑 ④ 富永調剤薬局				
タ イ ト ル	① 第9回全国薬学生ワークショップ ② 東児地区高齢者教室『喜楽教室』「身近な感染症の話～正しく知って、正しく防ごう～」 ③ 「障がい者支援施設における感染症予防対策～注意すべきポイント」 ④ 「かかりつけ薬剤師として知っておきたい感染対策」				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	中 西 徹
実 施 日	① 2019年8月18日 ② 2019年8月17日、9月7日、10月5日 ③ 2019年8月24日 ④ 2019年11月13日				
事業主催者（依頼元）	① 富永調剤薬局 ② 人と科学の未来館サイピア ③ NPO ヘルスサイエンス地域国際センター ④ 日本パスツール財団				
タ イ ト ル	① サンデーセミナー「iPS細胞を用いた再生医療の現状」講師 ② 「サイピア宇宙塾」講師 ③ 「やさしいノーベル賞医療の話」講師 ④ 日仏セミナー「これからの微生物学」講師				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	渡 辺 雅 彦
実 施 日	①2019年7月17日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県病院薬剤師会				
タ イ ト ル	①喫煙・大気汚染の健康影響を定量的に考える				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	山 川 直 樹
実 施 日	①2019年8月21日				
事業主催者（依頼元）	①岡山市教育委員会（岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」）				
タ イ ト ル	①コドモさんかくゼミ（児童と保護者のためのこれからの男女共同参画+study）				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	講 師	氏 名	加 地 弘 明
実 施 日	①2019年2月8日 ②2019年2月10日 ③2019年6月20日 ④2019年9月12日 ⑤2019年9月15日・16日 ⑥2019年12月15日 ⑦2020年1月21日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県薬剤師会 基礎講習会 ②岡山県薬剤師会 ルーブリック評価説明会 ③岡山県病院薬剤師会 定例学術講演会 ④つくし会 講演会 ⑤薬学教育協議会 薬学教育者ワークショップ ⑥あゆみの会 サンデーセミナー ⑦曾根小学校 薬物乱用防止教室				
タ イ ト ル	①AMRアクションプラン実行に移すためのワークショップ ②実務実習におけるルーブリック評価 ③今、薬学部で学生は何を学んでいるの？ ④知っておくべき薬の基礎知識 ⑤臨床現場での学習に有効な手法 ⑥大学における薬学臨床準備教育の実際とこれからの薬学教育 ⑦みんなで知ろう危険ドラッグのこと				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	講 師	氏 名	田 坂 祐 一
実 施 日	① 2019年4月26日 ② 2019年7月7日 ③ 2019年9月21日 ④ 2019年10月3日 ⑤ 2019年10月29日				
事業主催者（依頼元）	① 武蔵野大学 薬学部 ② 岡山県薬剤師会				

	③ AMED委託研究 医薬品等規制調和・評価研究事業 眞野研究班 ④ 兵庫県立姫路東高等学校 ⑤ 岡山県薬剤師会 児島支部
タイトル	① 薬剤師の業務と臨床生化学 ② 災害時医療に対する薬学教育の現状と課題 - 就実大学薬学部での取り組み- ③ 薬剤師が創るビッグデータ！プレアボイド報告が生む新たな可能性 ④ 薬剤師ってどんな仕事？ ⑤ プレアボイドについて

所属	就実短期大学 幼児教育学科	職位	教授	氏名	澤津 まり子
実施日	① 2019年12月5日				
事業主催者（依頼元）	① 岡山公共職業安定所・岡山市				
タイトル	① 日々の保育の中で大切にしたいこと				

所属	短期大学 幼児教育学科	職位	教授	氏名	小谷 彰 吾
実施日	① 2019年1月12日 ② 2019年1月18日 ③ 2019年2月3日 ④ 2019年5月9日 ⑤ 2019年6月15日 ⑥ 2019年6月22日 ⑦ 2019年6月29日 ⑧ 2019年7月1日 ⑨ 2019年7月15日 ⑩ 2019元年8月2日 ⑪ 2019年10月26日 ⑫ 2019年11月2日 ⑬ 2019年11月3日 ⑭ 2019年11月30日				
事業主催者（依頼元）	① 笠岡市六島公民館人権教育講演会 ② 久米町立神目小学校人権教育講演会 ③ 笠岡市大井公民館講演会 ④ 笠岡市教育委員会 ⑤ 倉敷市立粒江小学校教育講演会 ⑥ 倉敷市立琴浦南小学校教育講演会 ⑦ 倉敷市立第五福田幼稚園人権教育講演会				

	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 倉敷市立第二福田小学校人権教育講演会 ⑨ 笠岡市吉田公民館 ⑩ 井原市学校教育研究会 ⑪ 倉敷市立倉敷東小学校教育講演会 ⑫ 倉敷市立豊洲小学校教育講演会 ⑬ 鳥取県体育協会 ⑭ 文教大学父母と教職員の会
タイトル	<ul style="list-style-type: none"> ① 「生かされている感謝をエネルギーに」～歴史のバトンランナーとして ② 「君の可能性スイッチ ON !!」～感謝をエネルギーに換える～ ③ 「健全な自然林に健全な樹木が育つ」～時代をつなぐバトンランナーとして～ ④ 笠岡市就学前教育・保育研修講座 ⑤ すべてに「ありがとう」～よい習慣が君を輝かせる～ ⑥ 踏み出して、つまずいて、考えて、乗り越える ⑦ 「これからを生きる子どもの可能性スイッチON」～親が将来を決める種を蒔いている～ ⑧ 「ありがとう」で君が輝く～奇跡の命を生きている・生かされている～ ⑨ 「さんさんc a f e」講演会 ⑩ 人権教育部会研修会 ⑪ 「今、この瞬間が未来を創る」～目の前の一つに心をこめる習慣づくり～ ⑫ 「無限の可能性のスイッチオン」～小さな習慣の積み重ねが君の未来を決める～ ⑬ 反倫理行為の撲滅研修会 ⑭ 就職活動における父母の心構え

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	池 田 明 子
実 施 日	<ul style="list-style-type: none"> ① 2019年6月13日 ② 2019年7月9日・12月13日 ③ 2019年6月25日・10月18日 ④ 2019年7月30日 ⑤ 2019年8月1日 ⑥ 2019年10月20日 ⑦ 2019年11月30日 ⑧ 2020年1月25日 ⑨ 2020年3月6日 				
事業主催者（依頼元）	<ul style="list-style-type: none"> ① 広島市立八木幼稚園 ② 東広島市立八本松中央幼稚園 ③ 広島大学附属三原幼稚園 ④ 広島県教育委員会 ⑤ 東広島市立上黒瀬小学校 ⑥ 岡山市教育委員会 				

	⑦ 広島大学附属三原学校園公開研究会 ⑧ 三原市私立保育連盟 ⑨ 三原市本郷幼稚園
タイトル	① 「子どもにとっての『しあわせ』保育者であることの『しあわせ』」 ② 「子どもを理解するということ-保育の原点に還る-」 ③ 園内研修指導・助言 ④ 中堅教諭等資質向上研修「指導計画の作成と保育記録の作成」 ⑤ 「今後の保幼小連携の在り方」 ⑥ 岡山市免許更新講習「子どもの発達と学び」 ⑦ 幼稚園保育部会指導・助言 ⑧ 「子どもの主体性に沿った保育」 ⑨ 園内研修指導・助言

所属	短期大学 幼児教育学科	職位	教授	氏名	柴川敏之
実施日	① 2019年5月11日(土) ② 2019年8月17日(土) ③ 2020年2月9日(土)				
事業主催者(依頼元)	① Der-Horng Art Gallery (台湾) ② 就実短期大学 幼児教育学科 潜在保育士復職支援プロジェクト ③ 高浜市やきものの里かわら美術館				
タイトル	①2000年後の世界へ ②図画工作 ③2000年後のやきもの王国を発掘しよう！				

所属	短期大学 幼児教育学科	職位	准教授 准教授 講師 講師	氏名	ズビャーギナ 章子 松本 希 秋山 真理子 荊木 まき子
実施日	① 2019年5月25日 ② 2019年6月30日				
事業主催者(依頼元)	岡山市立旭東幼稚園旧園舎(八角園舎)				
タイトル	① ③運動遊びとリズム遊び(松本希・秋山真理子担当) ② 幼児向け心と身体のストレッチ&呼吸法(ズビャーギナ章子・荊木まき子担当)				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	講 師	氏 名	荊 木 まき子
実 施 日	①2019年5月9日・16日 ②2019年5月28日 ③2019年12月15日・2020年1月26日 ④2020年1月25日				
事業主催者（依頼元）	①香川大学 ②大阪教育大学連合大学院 ③香川大学 ④日本教育心理学会				
タ イ ト ル	①IPWの基礎概念と実習体験の振り返り・他職種理解と心理職の独自性検討 ②社会的包摂のための教育の実践的探究 スクールカウンセラーお仕事紹介 ③多職種連携教育ワークショップ ④「教育心理学研究」常任編集委員会				

所 属	短期大学 生活実践科学科	職 位	准教授	氏 名	加 藤 美奈子
実 施 日	①2019年11月30日				
事業主催者（依頼元）	①豊永開発振興会(豊永市民センター)				
タ イ ト ル	①歴史探訪「与謝野晶子と満奇洞」				

所 属	短期大学 生活実践科学科	職 位	講 師	氏 名	小 田 奈緒美
実 施 日	① 2019年6月18日～19日 ② 2019年8月19日 ③ 2019年9月6日～7日 ④ 2019年11月6日 ⑤ 2020年2月26日				
事業主催者（依頼元）	① 独立行政法人国民生活センター ② 岡山市市民協働局ESD推進課 ③ 独立行政法人国民生活センター ④ 長崎県立大学 ⑤ 岡山市市民生活局市民生活部生活安全課消費生活センター				
タ イ ト ル	① 2018年度 【新設】消費者教育に携わる講師養成講座[応用コース]中学生・高校生を対象とした消費者教育講座の提案 ② 未来わくわくフェスタ～お買い物からはじまるSDGs～ ③ 2019年度消費者教育学生セミナー ④ 2019年度長崎県立大学大学院特別講義－地元企業と消費者との協働による地域づくり－				

⑤ 消費生活マイスターレベルアップコース 消費者市民を育てる”こどものまち” 岡山での実践
--

『地域と歩んだ就実の軌跡—地域貢献報告書』

第 12 号

2020 年 4 月 10 日

発 行 就実大学・就実短期大学 地域貢献委員会
〒703-8516 岡山県岡山市中区西川原 1-6-1
Tel (086) 271-8111 (代)

発行責任者 地域貢献委員長 柴田 隆司

印 刷 株式会社プリント・ケイ